

令和2年度  
事業報告書

社会福祉法人 聖母会  
横浜市原宿地域ケアプラザ

## 社会福祉法人 聖母会

### 基本理念と基本方針

「愛と真理に基づき最も困っている人々に手を差し伸べる」

援助を必要としている人々すべてに福祉活動を行ってきた創立の精神を保持し、時代の変革の中で社会のニーズに応じてその使命を果たす。

1. 利用者本人を尊重し、個々のあるべき人生の支援に努める。
2. 地域関係機関と連携し、地域福祉の向上に努める。
3. 法人の理念に基づき、質の高い職員を育成する。

聖母会理事長 塩塚 俊子

# 目 次

令和2年度年間大目標の振り返り	1
地域の現状と今後の方向性、施設の適正な運営について	3
全事業共通	4
地域包括支援センター事業	10
居宅介護支援事業、通所介護事業	15
第1号通所事業	17

# 別表目次

別表1 月間目標と反省	19
別表2 防災訓練実施結果	31
別表3 研修参加者一覧	32
別表4 自主事業報告（地域交流・地域包括・生活支援）	38
別表5 地域包括支援センター相談受付件数（推移）	47
別表6 介護予防支援、介護予防ケアマネジメント実績	48
別表7 居宅介護支援事業所実績	49
別表8 通所介護事業・横浜市通所介護相当サービス事業実績	50
別表9 令和2年度決算書類（受託施設）（介護保険施設）	52

## 令和2年度 横浜市原宿地域ケアプラザ振り返り

### [地域交流]

- ・昨年度作成した「紙芝居」を活用し、ケアプラザの地域における役割について周知（福祉授業）を行うことができました。今年度は新型コロナウイルス感染症等により「地域住民の交流の場」が一時少なくなりましたが、新しい生活様式に対応しながら再開することもでき、改めて交流の場の大切さを認識することができました。引き続き、町内会・自治会、各種福祉団体、子育て支援団体等とも、情報共有を図りながら、地域福祉の向上を図ります。
- ・ダブルケアについて、父親の育児参加を促し、子育ての孤立の解消を目指して準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け中止になったため、次年度改めて開催できるよう調整を行っていきます。今年度も父親育児講座や親子での居場所作りなどを行い、当事者の方たちとの交流を図ることができました。今年度は新型コロナウイルス感染症等の影響により、改めて父親の育児参加の必要性を認識することとなりました。引き続き子育て支援拠点（団体）や関係機関とも連携を取りながら、地域に暮らす誰もが孤立することがないように支援を行っていきます。

### [地域包括支援センター]

- ・介護予防活動では、緊急事態宣言解除後においては、活動を停止することなく新型コロナウイルス感染症予防に留意し、地域のボランティアや保健活動推進員、自治会等の協力を得ながら継続支援を行いました。
- ・介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務では、高齢者が住み慣れた場所でその人らしく、自立した生活が継続できるよう、本人の意思を尊重し、その意向がかなえられるようなケアプランの立案ができるようケアマネジメントを行いました。
- ・エンディングノートや成年後見制度の講演会開催、成年後見制度の申立て支援（親族申立人不在の場合の区長申立てを含む）、介護者の会での講習会開催など独居高齢者、認知症高齢者や様々な課題を抱えている高齢者とその家族介護者に対し、必要と思われる制度や相談先の情報提供、周知活動を行いました。
- ・新型コロナウイルス感染予防のため、住民団体の皆様や各関係機関との活動・協働の場の参加に制限がありましたが、電話やメール等を活用して、包括的・継続的ケアマネジメント業務が円滑に行われるよう、医療・福祉・介護、各関係機関等と必要な情報や課題が共有できるよう努めました。

### [生活支援体制整備]

- ・地域資源の把握・整理・充実化、適切な情報発信に努めたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域活動の多くが規模の縮小や中止となりました。活動再開に伴い、感染予防・拡大防止対策等の支援を行いながら、地域活動の維持継続に努めました。
- ・新型コロナウイルス感染症により、町内会自治会、民生委員・児童委員協議会、地区社協、老人クラブ、施設等と連携する機会が減りましたが、メールや電話、感染症対策を実施しての訪問等、工夫しながら関係性の維持に努め、再開された地域活動や協議体等を通して地域課題の把握や解決に向けた取り組み、支援を行いました。

### [通所介護・総合事業（横浜市通所介護相当サービス）]

- ・住み慣れた地域、在宅において、少しでも長く暮らせるように、年間を通して在宅生活の継続に資する活動に取り組みました。

- ・今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策で、小学生との交流授業やボランティア活動の受け入れを実施することが出来なかった為、次年度の計画に取り入れていきます。
- ・居宅介護支援事業所や地域包括支援センター等と連携を図り、地域の高齢者に適切な支援が出来るように努めました。職員個々の資質向上と共に、より良い担い手（事業所）となれるように努めました。

#### [居宅介護支援]

- ・コロナ禍においても、黒字化に向け、前年度より稼働率を上げることができました。
- ・住み慣れた地域でその人らしく最期まで自立した生活が送れることを目指し、熱中症予防等の体調管理に重点したケアプランの見直しなどこまめに行うほか、がんなどの終末期のケアプランの充実のため、訪問診療等の医師らとの連携を密にとり支援を行いました。
- ・コロナ感染拡大予防のため、多くの研修会が中止となり、研修計画通りにはできなかったが、新型コロナウイルスの理解と対応について学びました。また、地域包括支援センター主催研修への出席や、オンライン研修へ参加するなどして、感染予防に努めながら、スキルアップと多職種との関係強化を図るようにしました。
- ・地域包括支援センターと連携し、独居認知症ケースや経済的虐待ケースといった支援困難ケースへの対応をしました。

# 令和2年度 事業報告

## 地域の現状と今後の方向性

今年度は新型コロナウイルス感染症により地域活動がとまり、地域住民の多くが居場所の減少や活動場所に制限をうけたり、また会の解散や縮小が今まで以上に進んできている。次年度以降も同様の事が予測されるため、より一層関係機関とも連携を行いながら、継続的に地域活動が続けられるように支援を行っていく事が求められている。今年度第三期大正地区ハートプランの振り返り及び第四期計画が策定され、次年度から本格的に運用が始まるため、町内会自治会、地区社協、地域の団体や区役所などとも連携を密にしながら周知活動（支援）を行っていく。

ケアプラザでの年間相談受付件数の推移に目を向けると、利用者家族からの相談件数は年々減少傾向となっている。これは少子化に加え、家族介護力の脆弱化、かかわりの希薄化を反映しているとも考えられる。加えて今年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延により、高齢者本人からの相談件数も大幅に落ち込んだ。しかし、そのような状況の中でも、民生委員や近隣住民からの相談件数は維持され（近隣住民からの件数はむしろ増加）、また福祉関係事業者からの相談件数にも大幅な減少は見られなかった。民生委員や近隣住民からの相談件数からは、地域住民による共助の傾向を表しているとも考えられる。国や自治体による公助のみに頼ることの限界を考えると、地域での共助について住民の理解を得ていくことが大切だと思われる。

今年度も前年に引き続き、住民一人ひとりの自助努力や備え、および地域住民による共助を実現するための働きかけを地域ケア会議や自主事業による講座などを通して行ってきた。今後もこれらの働きかけを関係機関と協力し取り組んでいく。

## 施設の適正な運営について

### ■公正・中立性の確保について

- ①居宅介護支援事業所でケアプランを作成する際及び地域包括支援センターから予防プラン・介護予防ケアマネジメントを委託する際、「ハートページ」「戸塚区内居宅支援事業者ケアプラン対応可能件数一覧表」を活用し、特定の事業所に偏らないように努めた。
- ②自主事業や貸館の申し込み等は、横浜市地域ケアプラザ施設利用マニュアルに準拠した社内ルールを設け、公正・中立に行うように努めた。また、自主事業や貸館の申込方法については、広報紙などを活用し地域住民への周知も行った。

### ■コンプライアンスへの対応について（事故防止、個人情報保護等）

- ①職場研修において、倫理・サービスや個人情報保護等の研修を実施。（コロナ禍のため外部研修は参加せず）
- ②各部署会議や全体会議等で事故について対策も含め状況報告をし、職場全体で事故防止に取り組む姿勢をもつようにした。

## 全事業共通

【目標】：横浜市健康福祉局が設定したものになります。  
(地域ケアプラザ事業実績評価マニュアルより)

### ■相談・支援

#### 【目標】

地域の身近な相談者として、高齢者、子ども、障害児・者、生活困窮者等の対象を問わず、本人又はその家族等の相談を受けとめるとともに、適切な支援、もしくは関係機関等につなげることができている。

#### 《潜在化しているニーズの把握》

(具体的な取組内容)

来館困難な方への積極的な訪問相談を継続して行っていく。

地域の活動に参加した際（自主事業や共催事業等）も相談できる機会である事を丁寧に周知していく。

(振り返り)

ケアプラザの「場」としての相談は窓口当番制をとり対応。来館困難者へは訪問し対応することができた。地域活動でも「相談できる場である」ことを幅広い年代に向けて周知することが出来た。今後も潜在化しているニーズの把握に努めていく。

#### 《必要な情報の提供》

(具体的な取組内容)

広報紙の発行及びホームページの更新を年6回行っていく。また、地域課題を解決するためのツールを作成し、情報発信を行っていく。

(振り返り)

広報紙は年6回発行し、ホームページの更新も適宜行うことができたが、コロナウイルス感染症により町内会などの回覧板等が中止となった地域もあり、改めて情報発信の必要性が浮き彫りになった。

#### 《総合的な支援》

(具体的な取組内容)

Ayamu等で地域資源を整理・更新し、必要な情報を必要な方々に提供していく。

(振り返り)

Ayamu等で地域資源を整理・更新し、地域情報については月1回の事務所会議にて共有し、必要な情報を広報紙やホームページ等を活用し、必要な方々に届けられるように努めた。

### ■地域アセスメント

#### 【目標】

地域ケアプラザで行う全ての取組を通じて、「地域の情報（基礎情報・社会資源）」と「課題（個別・地域）」を継続的に把握・分析し、地域ケアプラザ内や関係する専門職、地域住民等でそれらの情報を共有することができている。

## 《「地域の基礎情報」の把握》

(具体的な取組内容)

5 職種会議で地域活動報告やアセスメントシートの更新を町別に原則毎月開催し、情報共有を行っていく。「地域の定量的データ」の更新を年1回行っていく。

地域ケア会議等において、地域情報等を地域の方々と共有していく。

(振り返り)

地域情報シート（アセスメントシート）を町別に作成し、5 職種で共有・更新（年1回）を行うことができている。また、定量的データの推移をグラフ化し、地域支援に役立てている。5 職種会議を活用し、継続的に地域情報や課題の把握に努めている。

地域ケア会議等でも地域情報の提供に努めている。

## 《「地域の情報」と「ニーズ」の共有》

(具体的な取組内容)

地域ケア会議等で見えてきた課題やニーズ・資源等を整理し、Ayamu 等を活用した地域情報を提供できるツールとして作成していく。

ケアプラザ周知のための「紙芝居」や「カフェマップ」等を地域の様々な活動の場で活用し、地域課題解決に取り組んでいく。

(振り返り)

地域情報シートや Ayamu 等を更新し、いつでも情報提供できるように取り組むことができた。

昨年度作成した「紙芝居」「カフェマップ」等を活用しケアプラザの周知を幅広い世代に向けて行った。引き続き課題解決に向けた支援を実施していく。

## ■住民主体の地域づくりの推進体制の構築

### 【目標】

地域の情報やニーズから地域支援方針及び地域支援計画を決定し、地域住民に地域ケアプラザ、区役所、区社協等の専門職が寄り添いながら、一体となって地域づくりを行う体制が構築されている。

### 《地域支援方針及び地域支援計画の決定と適切な遂行》

(具体的な取組内容)

地域ケア会議や協議体等での意見を参考にしながら、アセスメントシートの更新時に、自主事業や地域・個別ニーズ・地域資源等の情報を随時共有し、地域支援計画へ反映させていく。

(振り返り)

コロナ禍で地域ケア会議（包括レベル）や協議体の開催が困難だが、5 職種会議で地域支援計画を策定し、地域情報シートの更新時に情報共有し、反映させることができている。また、コロナ禍における潜在化されたニーズを把握し、「スマホ講座」「ウォーキング講座」等を開催し、地域支援計画への反映や課題解決に努めている。

### 《目指す地域像の一致》

(具体的な取組内容)



①地域ケア会議や協議体の開催や各種定例会や地域活動へ参加することで、現状の課題や目指すべきビジョンを確認していく。

②ハートプラン第四期計画の策定を行っていくことにより、地域住民と目指す地域像を明確にしている。引き続き地域団体等と連携し地域づくりの推進体制の構築を進めていく。

(振り返り)

・新型コロナウイルス感染症により、各種会議や定例会等が中止または縮小開催となる中、新たな課題や活動再開に向けた支援方法等、今まで以上にコミュニケーションをとりながら情報把握に努めている。

・ハートプラン第四期計画の策定にあたり、地域住民と目指す地域像を明確にすることができるよう、区役所、区社協と連携し支援に努めた。今後も、地域団体等と連携し、第四期計画が推進できる体制作りを行っていく。

## ■社会資源の開拓・開発・支援

### 【目標】

地域アセスメント等を通じて把握される「地域課題」に基づき、必要となる社会資源が創出・継続・発展されている。

### 《新たな取組の創出》

(具体的な取組内容)

①企業や商店に地域ケア会議や自主事業等に参加していただけるように区役所と協働して呼びかけを行っていく。

②区と協働し、元気づくりステーションの活動継続ができるよう、担い手の方々の支援を行うと共に新たな参加者の獲得のための周知を行っていく。GOGO健康講座にて介護予防の普及啓発を行うと同時に新たな介護予防活動グループの創出に向けた働きかけを行っていく。

③子どもから高齢者まですべての世代の方々にケアプラザを知って頂けるように紙芝居を披露していく機会をつくっていく。

(振り返り)

・企業と連携し、区役所と協働しながら自主事業「スマホ講座」や「大正プロジェクト」等を開催することができている。

・コロナウイルス感染症の流行もあり、新たな参加者を募集することはできていない状況だが、区と協働し担い手の方々への支援は行えている。計6回のGOGO健康講座も無事終了しOB会として新たな活動グループが立ち上がった。

・コロナウイルス感染症により活用する機会が少なかったが、幅広い世代に向けてケアプラザの役割について、周知することができた。引き続き周知活動を行っていく必要がある。

### 《担い手の発掘・育成》

(具体的な取組内容)

①年1回よこはまシニアボランティア登録研修会を実施し、新たな活動の場の紹介を行っていく。また、ボランティア情報交換会等を通してコーディネートを行っていく。

②とつかハートプランを町内会・自治会等と一体的に取り組むことにより、社会参加や活動の場を充実させていく。関係機関と協力し、継続してハートプランの周知も行っていく。

(振り返り)

・今年度は新型コロナウイルス感染症により登録研修会については実施せず。新たな課題として、感染症による活動の自粛などにより、新しい生活様式に対応した地域活動の継続・発展に向けた支援を行っていく。

ボランティア情報交換会では、コロナ禍における活動やモチベーションの維持について等の情報交換を行うことができた。

・第三期とつかハートプラン地区別計画振り返りと第四期計画策定に向けて、地区社会福祉協議会、連合町内会自治会、区役所等と連携し一体的に取り組むことが出来た。食品配布会やフリーマーケット等のイベントを活用しハートプランの周知活動を行うことができた。

## ■ネットワークの構築・支援

### 【目標】

個別課題や地域課題の解決に向けて、住民、専門職、関係機関を含む多様な関係者（個人、組織及び団体）が、必要な情報や各々が抱える問題・課題等を、互いに円滑に共有することができるネットワークが構築されている。

### 《地域活動を行う地域住民等のネットワークの構築》

(具体的な取組内容)

今まで繋がりが少ない地域や地域活動団体、企業、施設等へ地域活動や自主事業等への参加を呼びかけていく。(継続実施)

(振り返り)

南戸塚台自治会館での集いの場の立ち上げ支援や自主事業での企業やNPOとの連携等、今まで繋がりが少なかった地域や企業等とのネットワーク構築を新たに行うことができています。

### 《地域住民等と専門職等とのネットワークの構築》

(具体的な取組内容)

地域活動から見えてきた課題解決に向けて、地域と専門職、学校等が情報共有・連携し、新たな居場所や交流の場の創出を行い、引き続き課題の解決に向けた支援を行っていく。

(振り返り)

コロナ禍において、地域課題も変化してきている。感染症対策を行いながら、地域・専門職・学校等が連携し、交流の場の創出や新たな地域活動を実施している。コロナと共生していくために、最新で正しい情報の入手、発信に努め、地域課題の解決に向けた支援を行っていく。

## ■地域ケアプラザの場を生かした支援

### 【目標】

子どもや高齢者、障害者等、地域に暮らすすべての人たちが、孤立することなく地域の一員として、自分らしく支え合って暮らせるよう、地域ケアプラザの「場」を生かしながら、地域課題の解決に寄

与することができる。

#### 《自主事業の実施》

##### (具体的な取組内容)

現在支援している地域食堂と認知症予防体操等の立ち上げの支援や、既存の自主化している団体の継続支援と課題抽出を行っていく。

##### (振り返り)

地域食堂については自主グループとして立ち上げる事ができた。引き続き継続的に活動ができるように支援を行っていく。

コロナウイルス感染症の流行もあり、継続支援のために予定していた講座は今年度は行わず次年度に行うこととなった。

#### 《福祉・保健活動団体等が活動する場の提供》

##### (具体的な取組内容)

①ボランティア施設連絡会を年1回実施し、新たな活動場所の紹介を行っていく。また、既存の活動団体に対して、施設等を紹介するコーディネートも行っていく。

②居宅介護支援事業所連絡会において、インフォーマルサービス（傾聴ボランティア、集いの場等）の紹介を継続して行っていく。

##### (振り返り)

・地域食堂については自主グループとして立ち上げる事ができた。引き続き継続的に活動ができるように支援を行っていく。

コロナウイルス感染症の流行もあり、継続支援のために予定していた講座は、今年度は行わず次年度に行うこととなった。

・新型コロナウイルス感染症により、ボランティア施設連絡会を開催することができず、施設での活動も困難であることから紹介も控えざるを得ない状況であった。ボランティア情報交換会を再開し、コロナ禍における活動状況について情報交換を行っている。

・居宅介護支援事業所連絡会において、地域のケアマネジャーに対し、インフォーマルサービス（コミュニティサロン情報・サービスB補助事業等）の紹介を行った。

## ■職員体制・育成

### 【目標】

全事業共通及び地域包括支援センター事業、介護保険事業の目標の達成に向けて、必要な資質を備えた職員が適切に育成・配置されており、必要に応じて職員間の十分な連携が行われている。

#### 《職員の連携体制の構築》

##### (具体的な取組内容)

①7職種会議を原則毎月開催し、各部署の視点で捉えた課題を共有していく。

②地域支援予定表を作成し、地域活動について理解を深めていく。（ケアプラザ全体で地域活動を共有・理解）

(振り返り)

- ・ 7職種会議を毎月実施し、各職種が連携し、それぞれの視点からみた地域情報の共有を行うことで、他部署からみた地域像の理解に努めている。今後も地域の課題についてケアプラザ全部署で捉えることができるように業務に取り組んでいく。
- ・ 5職種会議にて地域支援予定表を共有し、自主事業や地域活動情報の確認を行っている。自主事業については、ケアプラザ全体として地域づくりを意識しているため、2つの職種が関わりながら業務に取り組んでいる。

## ■ 区行政との協働

### 【目標】

地域ケアプラザと区役所が、必要な情報や各々が抱える問題・課題等を、互いに円滑に共有し、個別課題や地域課題の解決に向けて、効果的な役割分担のもと、協働して取り組むことができている。

### 《地域ケアプラザと区役所の良好な関係性の構築》

(具体的な取組内容)

地域ケアプラザと区役所がお互いに協力し合いながら、新たなサービスの創出と既存の活動団体への継続支援を行っている。(継続)

(振り返り)

区役所と地域ケアプラザが日常的に連携し、個別ケース対応や自主事業(スマホ講座・脳を鍛えるウォーキング講座等)、サービス創出(いきいき健康体操OB会等)、ハートプラン推進等、役割の確認、進捗状況を報告しながら支援を行っている。

### 《地域福祉保健計画の推進》

(具体的な取組内容)

- ①ハートプランの継続した周知を地域活動やケアプラザ等のイベントを活用し行っていく。
- ②地区別計画における地域ケアプラザの役割を確認するために、地区社会福祉協議会役員会へ毎月参加していく。

(振り返り)

- ・ ハートプランの周知活動について、コロナ禍ではあったが、「たいしょう食堂(食品配布会)」と「にこにこフリーマーケット」を通して行うことができた。  
地区社会福祉協議会役員会やハートプラン策定委員会に参加し、ケアプラザの役割を意識しながら、第三期振り返りと第四期計画策定に向けた支援を行った。
- ・ ケアプラザの役割を確認しながら、地区社会福祉協議会役員会で進捗状況を報告し、ハートプラン推進のツールのひとつとして「食事宅配サービスリスト」を作成している。

## 地域包括支援センター事業

### ■認知症支援事業

#### 【目標】

認知症の人がその意思を尊重され、できる限り住み慣れたよい環境の中で暮らし続けることができている。

#### 《認知症の正しい理解の促進》

##### (具体的な取組内容)

地域住民に対し認知症の正しい理解を目的とした講座や勉強会を開催していく。

協力医による住民向け講座を11月に開催予定。

##### (振り返り)

地域住民の認知症に対する正しい理解と対応ができるよう、協力医による認知症の住民向け講座を開催した。

#### 《早期発見・対応》

##### (具体的な取組内容)

- ① 近隣住民および地域の事業者が高齢者の異変に気づき、相談へつながるような仕組み作りを進めていく。
- ② ケアプラザが気兼ねなく気軽に相談できる場所であることの周知を引き続き行う。
- ③ 相談を受けた際、必要に応じ認知症初期集中支援チームと連携し医療機関等につなげていく。

##### (振り返り)

・集合住宅において認知症独居高齢者の異変に気付いた住人より相談があり、介護保険サービスおよび成年後見制度の区長申立てにつながった。

・地域での茶話会の参加や、ケアプラザでの自主事業を積極的に行うことで周知活動を予定でいたが、コロナ禍の影響で不十分であった。一部の地域では、自治会の広報紙にケアプラザの紹介や機能の説明、介護保険の利用などを毎月掲載しケアプラザの周知に努めた。

・地域の茶話会に参加した際、認知症で医者を受診を十年以上拒否している母親の相談を受け、認知症初期集中支援チームにつなげ、その後介護サービスを受け、現在週2回のデイサービスを利用されている。

#### 《切れ目のない支援体制の構築》

##### (具体的な取組内容)

地域の集まり・会合に参加することで顔の見える関係作りを行い、その中で地域住民に対する認知症の周知の機会を作っていく。

##### (振り返り)

地域の集まり・会合に参加して、いつでも認知症や介護保険の事を相談できる環境づくりに、取り組んだ。今年度はコロナ禍の影響で周知する場は限定的だったが、来年度以降も取り組み、認知症になっても安心して生活できる環境づくりに寄与していく。

## ■権利擁護業務

### 【目標】

- ①高齢者虐待の未然防止や早期発見および適切な対応を実現することができている。
- ②認知症等により自己の判断のみでは意思決定に支障のある高齢者等の権利や財産が守られている。

### 《早期発見・適切な対応》

#### (具体的な取組内容)

区役所担当職員と協力し、区長申立てのケースについて、早期申立てへつなげるよう課題を整理する。  
(振り返り)

認知症独居高齢者が悪意を持った人物から経済的搾取を受けているケース（地域住民からの相談）において、介護保険サービスにつなぐとともに、区役所担当者と同行訪問を行い、成年後見制度申し立てにつながった。

親族調査の結果、協力が得られる親族がないことがわかり、区長申立てが行われた。  
後見人が選任されるまでの間は、区役所で本人の財産保管を行ない、搾取を防止した。

### 《高齢者虐待の未然防止及び成年後見制度の利用促進》

#### (具体的な取組内容)

親族（介護者）による虐待を未然に防ぐための一つの方法として、サービス導入による介護負担の軽減や、「介護者の集い」への参加を呼びかける。

また成年後見制度を利用することによる本人・親族のメリットについて、より具体的に分かりやすく説明する機会を設けていく。

#### (振り返り)

同居の息子による本人のサービス利用拒否のケースについては、介護保険事業所および区役所高齢支援課、生活支援課、医療機関などとの連携により、本人の入院による安全の確保、経済的な世帯分離が行われ、虐待の進行を防ぐことができた。

また、成年後見制度に関する地域住民への周知として、10月に講演会を開催した。

### 《消費者被害への対応》

#### (具体的な取組内容)

横浜市消費生活総合センター等の出張講座により、被害に遭った具体例を地域住民に周知することで、特に高齢者の被害を未然に防ぐ。

#### (振り返り)

今年度は新型コロナウイルスの影響で、講座などを開くことができなかったが、介護者の会の中で点検商法の体験談を共有することで、注意喚起を行った。

## ■包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

### 【目標】

ケアマネジャーと地域をつなぐための支援を行い、ケアマネジャーが、高齢者の生活全体を丸ごと（包

括的)、どのような状態になっても切れ目なく（継続的）支えることができるケアマネジメントを実践することができている。

#### 《ケアマネジャーが抱える課題や支援ニーズの把握》

（具体的な取組内容）

- ①居宅介護支援事業所訪問を継続的に行う。
- ②ケアマネジャーが共通に抱える課題の解決に向けた、関係機関との連絡・調整などの必要な支援や研修会を実施する。

（振り返り）

- ・居宅介護支援事業所の訪問はコロナウイルス感染予防のため実施できない時期もあったが、電話を活用してケアマネジャーと連絡を取り合い、抱える課題等を共有した。
- ・課題解決に向け居宅介護支援事業所連絡会で研修会を開催し、資質向上の支援を行うことができた。

#### 《関係者とのネットワークの構築》

（具体的な取組内容）

- ①ケアマネジャーと、地域のインフォーマルサービス組織や関係者等が顔合わせ・情報交換等が出来る場を確保する。
- ②各種連絡会に参加しにくい環境にある小規模事業所に対する、適切な情報提供を行う。

（振り返り）

- ・コロナウイルス感染予防対策を行いながら、居宅介護支援事業所連絡会を生活支援交流会と合同で開催し、ケアマネジャーに地域のインフォーマルサービス（コミュニティーサロン情報・サービスB補助事業等）の情報提供、情報共有することができた。
- ・小規模事業所(1人ケアマネ)には感染予防のため電話にて、各研修等の情報提供を行った。

#### 《ケアマネジャーについての地域の理解の促進》

（具体的な取組内容）

地域住民や関係者等との意見交換等の場における、介護保険制度やインフォーマルサービス、ケアマネジャーの役割、介護予防に関する普及啓発を実施する。

（振り返り）

- ・3月に企画していたケアマネジャーと民生委員との合同研修会はコロナウイルス感染予防のため中止となったため来年度も同内容の研修を企画している。また今後は一般住民向けにも普及周知が行える場を設ける工夫をしたい。

### ■在宅医療・介護連携推進事業

#### 【目標】

個別課題や地域課題の解決に向けて、医療機関と介護事業所等（個人、組織及び団体）が、その日常の中で、必要な情報や各々が抱える問題・課題等を、互いに円滑に共有し、一体的な支援・サービスを行うことができるネットワーク・連携体制が構築されている。

《医療や介護の関係者と連携したケアマネジメントの実践》

(具体的な取組内容)

区役所、区内包括、ケアマネット、ほーめっと、在宅医療相談室、三師会と協力し、ケアマネジャーの医療知識の向上や医療や介護をはじめとした多職種の意見交換する場としての研修を実施する。  
(振り返り)

戸塚区11地域包括支援センター主任ケアマネジャー連絡会主催で、医療連携研修を行い、コロナウイルス感染予防に対する知識を学び、意見交換する場を設ける事ができた。

居宅介護支援事業所に、戸塚区在宅医療相談室事例検討会、ほーめっと(オンライン研修)の参加を呼びかけた。ケアマネットの研修はコロナ感染予防のため今年度の研修は全て中止となった。

## ■指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業(介護予防ケアマネジメント)

【目標】

心身機能の改善だけでなく、地域の中で生きがいや役割をもって生活できるよう、「心身機能」「活動」「参加」にバランスよくアプローチするケアマネジメントができています。

「高齢者が要介護状態になることをできるだけ防ぐ(遅らせる)」「要支援状態になってもその悪化をできる限り防ぐ」ために、高齢者自身が地域において自立した日常生活を送ることができるような、ケアマネジメントが実践できている。

《幅広い選択肢からの利用サービスの選択》

(具体的な取組内容)

生活支援コーディネーターや地域交流コーディネーターと連携し、地域の社会資源リストを作成する。作成したリストをエリアの居宅介護支援事業所、利用者に情報提供しインフォーマルを含めた幅広い選択肢を持ってもらう。

(振り返り)

生活支援コーディネーターや地域交流コーディネーターと連携しながら、地域のインフォーマルリストの作成やAyamuの更新、地域情報の資料等を収集し、ケアマネジャーが、利用者に情報提供できるよう準備を行っている。また、エリアのケアマネジャー連絡会を開催し、エンシュアHIの試飲会と「高齢者の低栄養」に関する研修会を行った。

《居宅介護支援事業所委託時の関与・支援》

(具体的な取組内容)

委託の場合の初回の介護予防ケアマネジメント実施時においては可能な限り立ち合いを行う。委託後もサービス担当者会議、モニタリング・評価に関わり居宅介護支援事業所とともに状態の把握に努める。

(振り返り)

特に新規の委託ケースでは、契約時や担当者会議の場に同席し、利用者本人の状態把握に努めた。サービス導入後も委託先ケアマネジャーの要請により、必要に応じ包括での介入も行った。

《適切なアセスメント及び自立支援に資するケアプラン作成》



(具体的な取組内容)

制度の理解だけでなく、利用者本人と家族が介護予防に積極的に取り組む意欲を引き出せるよう、本人及び家族との信頼関係の構築に努める。

(振り返り)

介護保険サービス利用開始時には可能な限り同行訪問し、エンパワーメントの部分を確認しながら関係性の構築に努めた。

●利用者実績 (延べ人数) 単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月
219	234	239	241	240	241
10月	11月	12月	1月	2月	3月
247	253	253	245	240	236

## ■地域ケア会議

【目標】

適切な支援に繋がっていない高齢者に対して、公的サービス、社会資源を活用し、自立に資するケアマネジメントが地域で行われている。

また、具体的な地域課題やニーズを吸い上げ、資源開発や地域づくりにつなげている。

《個別課題の解決》

(具体的な取組内容)

事前にケア会議の日程を決めず、問題ケースが出てきたときに、スピーディーに専門職種を交えた個別ケースケア会議を開催し問題解決に努める。

(振り返り)

今年度は個別ケースについて地域ケア会議を1回開催した。

認知症独居高齢者で物盗られ妄想があり、以前より民生委員から相談を受けていたが、担当ケアマネジャーからの要請を受け比較的短期間で会議開催を実現できた。また医療関係者や司法書士などにも参加いただき、多角的視点で検討を行うことができた。

《地域課題の発見》

(具体的な取組内容)

個別ケースケア会議で抽出した地域課題を、専門職や多職種を交えた包括レベル地域ケア会議で検討する。

(振り返り)

今年度はコロナ禍もあり、個別ケース地域ケア会議の積み重ねができず、包括レベル地域ケア会議の開催には至らなかった。

次年度に向け、個別ケースの吟味を行っていく。

## 居宅介護支援事業

### 【目標に対する取り組み状況】

- ・コロナ禍においても、前年度より稼働率を上げることができました。
- ・住み慣れた地域でその人らしく最期まで自立した生活が送れることを目指し、熱中症予防等の体調管理に重点したケアプランの見直しなどこまめに行うほか、がんなどの終末期のケアプランの充実のため、訪問診療等の医師らとの連携を密にとり支援を行いました。
- ・コロナ感染拡大予防のため、多くの研修会が中止となり、研修計画通りにはできなかったが、新型コロナウイルスの理解と対応について学びました。また、地域包括支援センター主催研修への出席や、オンライン研修へ参加するなどして、感染予防に努めながら、スキルアップと多職種との関係強化を図るようにしました。
- ・地域包括支援センターと連携し、独居認知症ケースや経済的虐待ケースといった支援困難ケースへの対応をしました。

### ●職員体制

居宅介護支援事業所管理者 1名（常勤兼務）

主任介護支援専門員 1名（常勤専従）

介護支援専門員 3名（うち常勤兼務 1名、常勤専従 2名）

### ●利用者実績（単位：人）※（ ）内は介護予防プラン・介護予防ケアマネジメント受託件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月
81 (20)	85 (28)	91 (23)	89 (21)	86 (20)	88 (20)
10月	11月	12月	1月	2月	3月
89 (19)	99 (21)	95 (21)	95 (20)	100 (19)	95 (16)

## 通所介護事業

### 【目標に対する取り組み状況】

住み慣れた地域、在宅において、少しでも長く暮らせるように在宅生活の継続に資する活動に取り組み、介護者の負担を軽減できるように支援を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、近隣の学校や活動団体等との交流は中止となったが、関係機関との連携を深め、地域貢献、地域福祉のより良い担い手（事業所）となれるように努めた。

### ●実施日数 週6日（12/29～1/3、日曜日を除く）

※令和2年4月1日～令和2年12月31日：週7日

※令和3年1月1日以降：週6日

### ●提供時間 9：25～16：25

●定員 40名

●実費負担

・1割負担分

(要介護1) 692円

(要介護2) 816円

(要介護3) 947円

(要介護4) 1,076円

(要介護5) 1,205円

・食費負担 800円

・入浴加算 54円/回

・サービス提供体制強化加算

(I) イ 20円/回:介護職員総数のうち、介護福祉士割合が50%以上

・同一建物居住者の送迎についての減算 △101円/日

・送迎減算(片道) △51円

・中重度者ケア体制加算 49円/回

・認知症加算 65円/回

・介護職員処遇改善加算(I)

1ヶ月の総単位数に5.9%を乗じた単位数(利用者毎に異なる)

・介護職員等特定処遇改善加算

1ヶ月の総単位数に1.2%を乗じた単位数(利用者毎に異なる)

介護職員の確保、定着につなげていくため、経験・技術のある介護職員に重点化しつつ、職員の更なる処遇改善を行うとともに、一定程度他の職種の処遇改善も行うことができるもの。

●職員体制

通所介護事業・第1号通所事業(横浜市通所介護相当サービス) ※職員は兼務

管理者 1名(常勤兼務)

生活相談員 6名(常勤兼務1名 常勤介護職兼務5名)

看護職員 5名(非常勤兼務・機能訓練指導員兼務)

介護職員 15名(常勤兼務8名 うち生活相談員兼務5名 非常勤兼務7名)

調理職員 6名(常勤1名・非常勤5名)

運転手 1名(非常勤)

●利用者実績(延べ人数) 単位:人

4月	5月	6月	7月	8月	9月
681	699	656	674	657	683
10月	11月	12月	1月	2月	3月
713	703	654	651	667	789

## 第1号通所事業

### 【目標に対する取り組み状況】

自宅での生活がより充実・自立したものとなるように選択レクリエーションや運動プログラムを行った。生活機能維持に向けた取り組み（調理・洗濯等）は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、一部は行うことが出来なかった。

●実施日数 週6日（12/29～1/3、日曜日を除く）

※令和2年4月1日～令和2年12月31日：週7日

※令和3年1月1日以降：週6日

●提供時間 10：30～15：00

●定員 40名

●実費負担

・1割負担分

（要支援1） 1,766円

（要支援2・週1回程度） 1,766円

（要支援2・週2回程度） 3,621円

・食費負担 800円

・サービス提供体制強化加算（I）イ

介護職員総数のうち、介護福祉士割合が50%以上

要支援1：78円/月 要支援2（週1回程度利用）：78円/月

要支援2（週2回程度利用）：155円/月

・同一建物居住者の送迎についての減算

要支援1：△403円/月 要支援2（週1回程度利用）：△403円/月

要支援2（週2回程度利用）：△807円/月

・介護職員処遇改善加算（I）

1ヶ月の総単位数に5.9%を乗じた単位数（利用者毎に異なる）

・介護職員等特定処遇改善加算

1ヶ月の総単位数に1.2%を乗じた単位数（利用者毎に異なる）

介護職員の確保、定着につなげていくため、経験・技術のある介護職員に重点化しつつ、職員の更なる処遇改善を行うとともに、一定程度他の職種の処遇改善も行うことができるもの。

●職員体制

通所介護事業・第1号通所事業（横浜市通所介護相当サービス）※職員は兼務

管理者 1名（常勤兼務）

生活相談員 6名（常勤兼務1名 常勤介護職兼務5名）

看護職員 5名（非常勤兼務・機能訓練指導員兼務）

介護職員 15名（常勤兼務8名 うち生活相談員兼務5名 非常勤兼務7名）

調理職員 6名（常勤1名・非常勤5名）

運転手 1名（非常勤）

●利用者実績（延べ人数） 単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月
77	84	108	126	118	114
10月	11月	12月	1月	2月	3月
129	124	101	87	92	111

## <別表1>月間目標と反省

### 1) 地域活動交流事業

- 4月の目標 ① コロナウイルス感染症拡大防止のため、引き続き館内の消毒や衛生管理を徹底していく。  
② 新年度の年間計画や書類等の整備を行っていく。
- 反省 ① 新型コロナウイルス感染拡大防止に努めた。引き続き館内の消毒や衛生管理を行っていく。  
② 日々の業務計画を立て、年間計画の作成や書類の整備等を行った。
- 5月の目標 ① ケアプラザから地域住民向けに、新型コロナウイルス感染予防策や健康維持に向けた情報をSNSや掲示板等を活用し発信を行っていく。  
② 町内会・自治会、学校、子育て支援団体等とSNSや電話等を活用し、情報共有等を行い今後の活動につなげていく。
- 反省 ① 地域住民向けに掲示板(拡大版)を作成し、また、健康維持に向けた情報や脳トレ問題等を掲示板に掲示するなど情報発信を行った。  
② 町内会・自治会、学校、子育て支援団体等と、電話等を活用し情報の共有を行うことが出来た。
- 6月の目標 ① ケアプラザの再開館に向けて混乱が生じないように対策を講じていく。  
② 緊急事態宣言の解除後、地域活動等が順調に進められるように、関係機関とも連絡を密にとり支援を行っていく。
- 反省 ① 地域アセスメントシートを更新し、高齢化率等の推移等、分析を行うことができた。今後の会議等で活用していきたい。  
② 関係機関や団体と連絡調整を行うも、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域活動はほとんど再開されていない。一部再開している活動については、チェックシート等を配布し注意喚起を促した。
- 7月の目標 ① 7月より体操系団体の利用再開に向けた説明会などを行い、混乱が生じないように対策を講じていく。  
② 地域活動も徐々に再開されつつあるため、引き続き関係機関と連携を取り、地域支援を行っていく。
- 反省 ① 各団体への説明会を実施し混乱なく活動再開することが出来た。引き続き、状況に応じた対応を心がけていく。  
② 新しい生活様式に応じた地域活動が再開できるように引き続き支援を行っていく。
- 8月の目標 ① 地区社協と連携し、ハートプラン第3期振り返りと第4期策定に向けて支援を行っていく。  
② 今年度たいしょう食堂が感染予防に注意しながら、新たな取り組みを始める事になり、開催に向けてケアプラザとして関係機関との連絡・調整などの後方支援を行っていく。  
③ 感染症拡大予防として、引き続き館内の消毒を継続し、併せて備品等の見直しを行い感染拡大防止に努める。
- 反省 ① ハートプラン第3期振り返りも順調に進んでいる。引き続き関係機関と連携し進めていく。  
② 9月の食品配布会に向け、関係機関と連携し準備を進めることができていく。  
③ 館内の消毒、来館者の検温等を継続し感染拡大防止に努めた。また、備品等の見直しも行い、館内環境の整備に努めた。
- 9月の目標 ① 感染症対策(3密を避ける)を取りながら、自主事業(傾聴養成講座、障がい学習会)など実施(再開)していく。  
② 9/20実施予定の食品配布会はコロナ禍による地域食堂の開催が難しい為、新たな試みとして実施することとなった。引き続きケアプラザとして関係機関との連絡・調整などの後方支援を行っていく。

- 反省 ① 自主事業等については、感染症対策（消毒、マスクの着用、検温、換気等）を行いながら実施することが出来た。今後インフルエンザ等の感染症等にも注意を図りながら実施していく。
- ② 9/20の食品配布会は、地域や店舗等からもご協力を頂き、多くの食品を集めることが出来た。現在幼児から高校生まで30名以上の方からの申し込みを頂いている。引き続き関係機関とも連携を行っていく。
- 10月の目標 ① 新たな生活様式に準じた形で、歌声サロンやおしゃべりカフェを開催し課題抽出を行い、本格開催に向けて準備を行っていく。
- ② 12月実施予定の住民主催（子育てサークル）の子ども服限定フリーマーケット開催に向けて、関係機関との連携・調整など後方支援を行っていく。
- 反省 ① 感染対策を行いながら、歌声サロンやおしゃべりカフェを実施し、参加者からも概ね高評価を頂くことが出来た。しかし、新たな課題（周知方法、参加人数の上限など）も見えてきたため課題解決に向けて取り組んでいく。
- ② フリーマーケット実施に向けて、出店希望者も集まり準備も順調に進んでいる。今後は当日に向けて地域住民向けにチラシの配布等、周知活動を行っていく。
- 11月の目標 ① 12月実施予定の第2回食品配布会（たいしょう食堂）に向けて、前回見えてきた課題などを整理していく。引き続き実行委員、関係機関との連携・情報共有などを行いながら準備を進めていく。
- ② 12月実施予定のフリーマーケット実施に向けて、今後子育て支援拠点や地域住民向けに周知活動（チラシ配布など）を行っていく。また、皆様が安心して参加できるように準備（感染対策）を進めていく。
- 反省 ① 第2回食品配布会（たいしょう食堂）に向けて準備が進み、会を重ねるごとに申込者が増えてきている。引き続き関係機関との連携を行い、支援を必要としている方に届けられるように情報の共有を行っていく。
- ② 12月実施予定のフリーマーケットに向けて、子育て支援拠点や地域住民向けに周知活動を行うことが出来ている。感染予防に努め、安心して参加できるように事前準備を行っていく。
- 12月の目標 ① 地域住民（児童）向けに、昨年度作成した紙芝居等を活用しケアプラザの役割などについての福祉授業を実施していく。
- ② ケアプラザでのICT化に向けて、関係機関やケアプラザ利用団体等へ説明を行っていく準備及び、必要書類等の整備を行っていく。
- 反省 ① 小学校の福祉授業にて、昨年度作成した紙芝居を活用しケアプラザの役割などについて説明し、次月以降も交流を行っていく事となった。
- ② ケアプラザでのICT化に向けて、引き続き区役所等とも連携を密に取りながら、必要書類の準備等を行っていく。
- 1月の目標 ① 子育て支援拠点もコロナウイルス感染症等により、活動内容について制約を受けている。その中で、子育て連絡会を通して「外遊びの重要性」が改めて再認識されてきている為、次年度以降の大正地区全体で取り組んでいく方向性（目的）について検討していく。
- ② 今年度も「ダブルケア」の一環として父親育児講座を2月に開催予定の為、近隣の子育て支援拠点とも連携し周知活動等を行っていく。
- 反省 ① 外遊びの重要性について会全体で共有することが出来た。引き続き、公園遊びや子育て拠点等を活用し「外遊びの重要性」について情報発信できるように、大正地区全体で取り組んでいく事となった。
- ② 2月に開催予定であった父親育児講座はコロナ禍の為に中止となった。次年度以降改めて開催できるよう調整を行っていく。
- 2月の目標 ① 地域交流研究会主催研修「コーディネーターの仕事の進め方～事例検討を通じて学ぶ～」の実施に向けて関係機関等とも連携し準備を進めていく。
- ② コロナ禍により、様々な事業等が中止または縮小開催が増えている中、少しでも多くの住民に情報を届けられるような仕組み（枠組み）を検討していく。
- 反省 ① 地域交流研究会主催研修はWEB等を活用し研修が実施できるように現在講師

とも調整を行っている。引き続き関係機関等とも連携し準備を行っていく。

- ② 少しでも多くの住民に情報を届けられるような仕組み（枠組み）を検討していく中で、スマホ等を活用し新たな情報発信方法（LINE等）について取り組んでいく必要がある。

3月の目標 ① 全2回の地域交流研究会主催研修では、感染対策を行いながら開催できるよう準備し、「事例検討会」の重要性について認識してもらえよう関係機関と連携し進めていく。

- ② 次年度に向けて、SNS（LINE）等を活用した新しい情報発信ができるように区役所等とも連携し準備を進めていく。

反省 ① 全2回の地域交流研究会主催研修の内1回は終了し、2回目の研修に向けて講師等と連携し準備を進め「事例検討会」の重要性について認識していただけるような講座にしていく。

- ② 次年度に向けて、SNSなどを活用した情報発信の方法を近隣の施設間で連携しながら進められるように準備を進めている。

## 2) 地域包括支援センター事業

4月の目標 ① 引き続き感染予防対策を厳重に行い、職員間・利用者への感染拡大リスクを極力避ける。

- ② 5月から始まる事業の準備を行う。

反省 ① 感染予防対策は、日々対応方法が変わることもあり一時的に混乱することもあったが、特に大きな問題は発生せず、また職員の中で新型コロナウイルスに感染した者も出ず、着実に行われた。

- ② 5月開催予定の事業は新型コロナウイルス感染拡大予防のため延期となった。

5月の目標 ① 引き続き感染予防対策を厳重に行い、職員間・利用者への感染拡大リスクを極力避ける。

- ② 密接状態を避けるため就業場所（部屋）が毎日変わるが、そのことによる引継ぎミスを起こさないよう声かけやサイボウズメールで確認していく。

反省 ① 感染拡大予防対策を厳重に行った。職員、利用者の感染者なし。

- ② 密接状態を避けるため就業場所（部屋）が毎日変わっているが、声掛け等を行い、特に引継ぎミスは生じなかった。

6月の目標 ① 新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の解除が予想されるため、業務に支障がないよう各情報の把握・整理を行い情報共有する。

- ② 今後もしばらくは利用者がマスク着用を継続することが予想され、気温の上昇とともに熱中症を発症するリスクが高くなる。このことの注意喚起を行っていく。

- ③ 緊急事態宣言解除により、地域の介護予防活動の再開が予想されるが、区の担当者と協同しスムーズな再開ができるよう準備を進めていく。

反省 ① 緊急事態宣言の解除により、業務に支障がでないよう各情報の把握・整理に努め情報共有を行った。

- ② 利用者への熱中症予防への注意喚起（特にマスクの着用時）を行った。

- ③ 地域の活動グループの再開に向け、区の担当者と協同し、7月からの再開に向けての話し合いを支援者と共に行った。

7月の目標 ① 9月開催予定の「居介支連絡会・生活支援交流会」を、生活支援コーディネーターと企画立案する。

- ② 引き続きマスク着用時の熱中症への注意喚起を行っていく。

- ③ 再開する2つの元気づくりステーションが安全に活動できるよう支援すると共に、マスクをつけての活動のため熱中症についての注意喚起を行う。

反省 ① 9月15日開催予定の「居介支連絡会・生活支援交流会」を、生活支援コーディネーターと企画立案した。

- ② 新型コロナ感染予防及び熱中症予防行動を心がけるよう訪問時等にパンフレ



ット配布や声掛けを行った。

- ③ 2つの元気づくりステーションは無事に活動再開できた。熱中症の注意喚起も行った。

8月の目標

- ① 8月開催の知っ得講座(2回)を滞りなく開催する。
- ② 8月の民児協に参加し、特に新任民生員と顔の見える関係作りを行う。
- ③ 8月以降の老人クラブ定例会参加に向け、三職種で話し合いを行う。
- ④ 新型コロナウイルス感染予防については、再びその新規感染者数が増えていることから、高齢者だけでなく職員自身も予防に十分留意する。

反省

- ① 29日、31日の自主事業(知っ得講座)は問題なく実施できた。
- ② 民児協に参加し、包括支援センターの周知と8/29に開催される自主事業のお知らせを行った。
- ③ 包括として地域の集まり(老人クラブ等)にどのような目的で顔を出していくか話し合いを行った。
- ④ 引き続き感染予防に留意していく。また利用者・相談者への注意喚起も継続していく。

9月の目標

- ① 9/15開催の「生活支援交流会、ケアマネジャー連絡会・研修会」を滞りなく開催する。
- ② 9/30開催予定の自主事業(エンディングノート2回目)開催に向け、準備を行う。
- ③ 新型コロナウイルス感染予防について、利用者に注意喚起を行い職員自身も予防に十分留意する。

反省

- ① 9/15開催の「生活支援交流会、ケアマネジャー連絡会・研修会」はコロナ感染予防を充分に対策し、8事業所12名のケアマネジャー、他関係機関含め計17名の参加があり好評を得た。
- ② 8/29の自主事業(エンディングノート)1日目講習から引き続きでの開催を9/30に行い、エンディングノートだけでなく遺言や成年後見制度への周知ができた。
- ③ 新型コロナウイルスへの感染予防の注意喚起を継続的に行った。

10月の目標

- ① 10/29開催予定の「成年後見制度講座」開催に向け、感染予防に留意し準備を行う。
- ② 新型コロナウイルス感染予防について、利用者に注意喚起を行い職員自身も予防に十分留意する。
- ③ 10月から始まる各種介護予防講座に向け、準備を進め滞りなく開催する。

反省

- ① 10/29開催予定の「成年後見制度講座」開催に向け、広報誌で周知を行った。またケアプラザ内外で開催される講座参加者にもチラシ配布を行い、現在参加希望者が定員に達した。
- ② 新型コロナウイルスへの感染予防の注意喚起を継続的に行い、職員も感染予防に留意し業務にあたった。
- ③ 10月から開始の介護予防講座は問題なく開催できている。

11月の目標

- ① 引き続き、介護予防講座を感染予防に気をつけ安全に開催すると同時に、11/26開催の地域住民向け講座の準備を行う。
- ② 新型コロナウイルス、インフルエンザ等の感染予防について、利用者に注意喚起を行い職員自身も予防に十分留意する。

反省

- ① 感染予防の注意喚起を行いながら介護予防講座の開催を行った。
- ② 新型コロナウイルスへの感染予防の注意喚起を継続的に行い、職員も感染予防に留意し業務にあたった。

12月の目標

- ① 感染予防に十分気をつけながら、12月から始まるウォーキング講座の準備及び開催をしていく。
- ② 新型コロナウイルス、インフルエンザ等の感染予防について、利用者に注意喚起を行い職員自身も体調管理を万全に行い予防に十分留意する。

反省

- ① 12月から始まったウォーキング講座は、感染症予防に十分留意しながら開催できている。残り8回も同様に開催できるようにしていく。
- ② 新型コロナウイルスへの感染症予防の注意喚起を継続的に行い、職員も感

染予防に留意し業務にあたった。

1月の目標 ① 3月まで続くウォーキング講座を、感染症予防に十分注意しながら開催できるように準備していく。

② 新型コロナウイルス等の感染予防について利用者に注意喚起を行う。また職員自身も感染予防の知識を正しく理解し体調管理に十分留意する。

反省 ① ウォーキング講座は新型コロナウイルス感染症流行の為に中止となった。

② 新型コロナウイルス等の感染予防についての研修に参加し部署内での情報共有を行い、感染予防の知識を正しく理解することで、より一層の感染予防に努めた。

2月の目標 ① 緊急事態宣言が解除されるまでは、感染予防対策を継続する。また利用者への感染予防の注意喚起も継続する。

反省 ① 2月中の緊急事態宣言の解除が見送りになり、感染予防対策および利用者への注意喚起を継続した。

3月の目標 ① 3/25開催の生活支援交流会、居宅介護支援事業所連絡会・研修会を滞りなく開催する。

② 新型コロナウイルス感染予防について、利用者に注意喚起を行い職員自身も体調管理を万全に行い、予防に十分留意する。

反省 ① 3月25日開催予定の生活支援交流会、居宅介護支援事業所連絡会・研修会はコロナウイルス感染拡大予防のため中止とした。

② 緊急事態宣言の解除が延長となり、より一層の感染予防対策および利用者への注意喚起を継続した。

### 3) 生活支援体制整備事業

4月の目標 ① 地域の活動状況を再確認し、適切な支援を行っていく。  
② サービスB補助事業検討団体への情報提供を行い、検討に向けた支援を区役所・区社協とともにっていく。

反省 ① 地域活動の状況について電話等により確認・把握し、適切な支援に努めた。

② サービスB補助事業検討団体への情報提供と検討に向けた支援を区役所・区社協とともに行うことができた。その結果として、新たな繋がりを持つことができた。

5月の目標 ① 新型コロナウイルスの状況を考慮しながら、適切に地域活動の現状を確認していく。

② 地域サービスリストの更新作業を行う。

反省 ① 地域活動の状況について電話、メール等により確認・把握し、適切な支援に努めた。

② 地域サービスリストの更新作業とアセスメントシートのデータ分析等を行うことができた。

6月の目標 ① 地域アセスメントシートのデータ分析を行い、今後の地域活動の参考資料を作成する。(人口や高齢化率の推移等)

② 地域活動の再開に向けた調整を関係機関と行う。

反省 ① 地域アセスメントシートを更新し、高齢化率等の推移等、分析を行うことができた。今後の会議等で活用していきたい。

② 関係機関や団体と連絡調整を行うも、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域活動はほとんど再開されていない。一部再開している活動については、チェックシート等を配布し注意喚起を促した。

7月の目標 ① 地域活動の再開に向けた調整を関係機関と行う。(継続)

② 配食サービスリスト作成に向け、情報収集を行う。

反省 ① 地域活動の再開に向けて検討会を行う等の準備を行っている。消毒物品や密にならないレイアウトの確認等、計画的に支援を行うことができた。

② 配食サービスリスト作成に向け情報収集し、レイアウトの確認等を行うことができた。

- 8月の目標 ① 配食サービスリストやハートプランの推進について、地区社協と連携をとりながら進めていく。  
 ② 新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、地域活動の再開に向けた調整を関係機関と行う。(継続)
- 反省 ① 配食サービスリストについては、地区社協役員会において進捗状況を報告しながら進めており、ハートプランについては策定委員会の主要メンバー、区役所、区社協と連携し支援を行っている。  
 ② 活動を再開する団体の方々が新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、地域活動を行えるよう適切に支援を行っている。
- 9月の目標 ① 生活支援交流会、居宅介護支援事業所連絡会について、関係機関と連携し準備を行うとともに、感染症対策を実施しながら開催していく。  
 ② 新型コロナウイルス感染予防で地域活動を中止している団体と今後の活動について意見交換を実施していく。
- 反省 ① 生活支援交流会・居宅介護支援事業所連絡会研修会について、関係機関と連携し、感染症対策を実施しながら開催することができた。  
 ② 活動団体のメンバーと意見交換を実施していく中で、メンバーでの意見の相違等もあるため、丁寧に聞き取りを行いながら、団体としてより良い選択となるような情報提供を行っている。
- 10月の目標 ① ボランティア情報交換会において、有意義な情報交換が行えるよう準備し、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら開催する。  
 ② 南戸塚台自治会の「ハーモニー戸塚台(サロン)」のオープンにあたり、必要に応じて後方支援を行っている。
- 反省 ① ボランティア情報交換会は、事前の準備も行い、活動報告や情報共有等、感染症対策を実施しながら開催することができた。  
 ② 南戸塚台自治会の「ハーモニー戸塚台(サロン)」のオープンにあたり、継続して活動に参加させて頂きながら、情報提供等、必要に応じた後方支援を行っている。
- 11月の目標 ① 自主事業「スマートフォンの使い方」講座の開催に向け、協力企業と連携し、準備を行う。  
 ② 宅配食事サービスリスト作成にあたり、掲載事業者と連携を行い、地域活動団体等に進捗状況の報告を行いながら進めていく。
- 反省 ① 自主事業「スマートフォンの使い方」講座について、協力企業と連携し、感染症対策を実施しながら開催することができた。  
 ② 宅配食事サービスリスト作成にあたり、掲載事業者や連合町内会自治会、老人クラブ連合会等とも連携を行い、準備を進めている。
- 12月の目標 ① 自主事業「スマートフォン講座」については、初めての企画ということもあり、参加者の意向を十分に確認しながらテーマの設定を行っている。  
 ② 地域活動団体の感染症対策について、参加を通して適宜アドバイスを行っている。
- 反省 ① 自主事業「スマートフォン講座」については、内容も適宜変更し、参加者の意向を確認しながら実施することができた。  
 ② 地域活動団体の感染症対策について、参加を通して最新の情報発信を行うよう努めた。
- 1月の目標 ① 自主事業「お医者さんへの上手なかかり方」の開催に向け、関係機関と調整し、しっかりと準備を行っている。  
 ② 宅配食事サービスリスト作成にあたり、掲載事業者や地域活動団体等に進捗状況の報告を行いながら進めていく。
- 反省 ① 自主事業「お医者さんへの上手なかかり方」の開催を予定していたが、緊急事態宣言が発令された為中止とした。  
 ② 宅配食事サービスリスト作成にあたり、掲載事業者や地域活動団体等に進捗状況の報告を行い、完成に向け準備を進めることができています。
- 2月の目標 ① 宅配食事サービスリストを完成させるにあたり、掲載事業者に最終確認を行うとともに地域活動団体に配布等の協力を依頼していく。

- ② 令和2年度の振り返りを行うとともに、令和3年度の計画策定を行っていく。
- 反省 ① 宅配食事サービスリストを完成させることができた。今後、コロナ禍における状況を鑑みながら、地域活動団体に対して周知と配布協力の依頼を行う。
- ② 現在に至るまで、令和2年度の振り返りを行うことができたが、令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の状況もあり、計画策定に至っていない。
- 3月の目標 ① 宅配食事サービスリストが完成したので、地域活動団体に対して周知活動を行う。
- ② 令和3年度の計画策定に伴い、5職種において情報共有を行っていく。
- 反省 ① 宅配食事サービスリストを大正東地区民生児童委員協議会、大正地区老人クラブ連合会には配布し、周知依頼を行い、大正連合町内会自治会には3月27日に周知予定。
- ② 令和3年度の計画策定に伴い、自主事業や地域行事等について、5職種で情報共有を行った。

#### 4) デイサービス事業

- 4月の目標 ① 先月に引き続き利用者様の体調管理に努め、コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症を妨げるように努める。
- ② 職員も体調管理に努め、感染症を妨げるように努める。
- ③ デイルームの室温、衛生管理に努める。
- ④ 4月に行う予定の「選択アクティビティ」「園芸週間」を事故なく終える。
- 反省 ① 利用者様の体調管理に気を配り、コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症を防げるように努めた。施設内の消毒、利用者様にも手洗いうがいをして頂いて感染予防を行っている。
- ② 職員も手洗いうがいを行い体調管理に努めた。
- ③ デイルームでは加湿器で湿度を確認して、湿度管理をこまめに行った。
- ④ 4月実施予定の「選択アクティビティ」「園芸週間」は、コロナウイルスの感染予防の為行事を中止しており、行えなかった。
- 5月の目標 ① 感染症対策として消毒、定時の換気を行う。
- ② 引き続き職員も体調管理に努める。
- 反省 ① 感染症対策を行い常に消毒（1介助1消毒）常時の換気を行った。
- ② 家族の発熱者は出たが体調不良の職員は出ず、体調管理に努めた。
- 6月の目標 ① 引き続き感染症対策を行い（消毒・常時の換気等）感染予防に努める。
- ② 感染症予防対応をしつつ、選択アクティビティ週間・園芸レク・父の日週間の行事を事故なく行う。（実施出来た場合）
- 反省 ① コロナウイルス対応を徹底した。感染症対策を行い消毒実施。（居室、食堂、トイレは定時、脱衣場、風呂場、送迎車、使用した物）利用者が帰宅後、テーブル、椅子の消毒を実施した。『1介助、1消毒』を徹底し、常時換気、感染予防や湿度管理を行うことができた。
- ② 感染症予防対策を行いつつ、選択アクティビティ週間（マスクを着用）を行った。園芸レク・父の日週間等、使用した道具は毎回消毒を行いながら事故なく行うことができた。
- 7月の目標 ① 七夕週間、選択アクティビティを事故なく楽しんで頂く。前回同様、使用した物は消毒を行う。
- ② 梅雨に入ったので、日々の湿度管理、引き続きコロナウイルス対応（手洗い、うがい、換気）の注意喚起も徹底する。また食中毒の時期でもあるので、起こさない様に注意していく。
- ③ 気温も高くなってきているので、利用者・職員の脱水に気を付ける。今年はマスクをしながらなので、体調管理に気を付ける。（デイの職員はマウスシールド、冷感タオルを入浴介助時使用中）

- 反省 ① 七夕週間中に、見守りが手薄になり転倒事故が1件発生してしまいました。選択アクティビティは参加された皆様に喜んで頂けた。  
 ② 常時換気をしつつ空調管理も行い、利用者への注意喚起も行った。  
 ③ 入浴介助時は、マウスシールドや冷感タオル等を使用し体調を崩す職員もいなかった。利用者への水分補給の声掛けも行った。
- 8月の目標 ① コロナウイルス感染症予防として、一行為一手洗いを基本とし、アルコール消毒も徹底して行っていく。利用者への注意喚起も継続して行っていく。  
 ② 夏祭りは久しぶりの行事になるので、感染症対策を行いながら事故のないように楽しんで頂く。
- 反省 ① コロナウイルス感染症予防として、1行為1手洗いを基本とし、アルコール消毒も徹底して行った。利用者への注意喚起も継続して行った。車内にもアルコール消毒を置き、乗車していない時間帯は外している。  
 ② 夏祭りは久しぶりの行事になったが感染症対策を行いながら事故なく行えた。  
 ③ 名札の紛失があり、事故報告が発生してしまいました。対策としては、朝、机の上にあるピンクの名札は無くしA3用紙に氏名を書いて代用している。
- 9月の目標 ① 9/1～7日まで選択アクティビティ週間を行うので、引き続きコロナウイルス感染予防として、文房具等のアルコール消毒を徹底していく。  
 ② 敬老週間は9/15～21日に行うが、毎年恒例の集合写真はソーシャルディスタンスを保つため個人写真に変更する。温泉週間も行う。事故なく楽しんでいただく。
- 反省 ① 9/1～7日まで選択アクティビティ週間を行った。引き続き、コロナウイルス感染予防として、使用した文房具等はアルコール消毒を徹底し事故なく行った。利用者への注意喚起も継続して行っている。  
 ② 敬老週間 9/15～21日を終えた。毎年恒例の集合写真はソーシャルディスタンスを保つため個人写真に変更し、余った分の時間は職員のソーラン節やお祭りマンボで楽しんで頂いた（温泉週間も実施）。利用者には記念品ブランケットをお渡しした。写真は出来上がり次第お渡しする。  
 9/11（金）入浴時の脱衣場でベッドに座られていた方が、頭を壁にぶつける事故報告あり。
- 10月の目標 ① 引き続きコロナウイルス感染予防対策に加え、インフルエンザ等への対策も実施していく。  
 ② 運動会はコロナウイルス感染予防対策で例年通りにはできないので、体力測定等に形式を変更し行う予定（計画中）。  
 ③ 防災訓練を行う予定（日時は未定）。  
 ④ 10月は職員が少ないので、情報共有（ほうれんそう）を心掛け、事故なく行っていく。
- 反省 ① コロナウイルス感染症対策に加え、インフルエンザやノロウイルス等にも注意して行っている。各所に置いてある感染症対策セットの確認を行い、飛沫対策アクリル板をテーブルに3つ設置した。気温も下がり乾燥してきたので湿度60%を切らないように加湿に気を付けている（加湿器2台増設）。  
 ② 運動会はコロナウイルス感染症対策で例年通りには出来ない所以、体力測定等の形式で行った（スポーツ測定）。4種目（握力、足上げ、肩の可動域、立ち上がり）。2日目の立ち上がり測定時、尻もちをついてしまう事故が起きてしまった。3日目から職員が情報共有し、事故なく行えている。  
 ③ 防災訓練は10/22『火事と地震』を想定し問題なく行うことができた。今回はコロナ対策もあり小規模で外に出ずE型で実施した。  
 ④ 1件転倒事故が発生してしまいましたが以降職員で情報共有し防止に努めている。
- 11月の目標 ① 引き続き感染症対策を実施する。インフルエンザも増え始めるので、利用者健康観察・職員の健康管理を行っていく。  
 ② 職員が少ないので、大掃除等始められる時に計画を持って行う。

- ③ 11/1(日)～7日(土)選択アクティビティ実施予定なので事故なく行う。
- ④ 夕暮れが早くなって来ているので、車のライト、車内灯、懐中電灯をつけ、足元に注意しながら誘導を行っていく。
- ⑤ 働き方改革の業務改善を引き続き行っていく。

反省① 引き続き感染症対策を実施した。車内での検温や手の消毒、食事前・おやつ前などにも消毒を行っている。職員自身も出勤前の検温など行えている。

- ② 空いた時間で少しずつ大掃除を進められている。
- ③ 選択アクティビティは事故なく行う事が出来た。
- ④ 夕暮れが早くなって来ているのに伴い、車内の懐中電灯は電池の確認などを行いしっかり使えるようにし、新しい懐中電灯も購入している。
- ⑤ 働き方改革の業務改善として足ふきマットや乾燥機を新しく購入し、洗濯業務を短縮できるようにした。

12月の目標① クリスマス工作・クリスマス週間を事故なく楽しんで頂けるようにする。

- ② 感染症の流行る時期になっているので引き続き感染症対策をしっかり行っていく。
- ③ 年末までに大掃除を終えられるように計画的に行っていく。
- ④ 利用者様の状態をしっかり確認し変化を見逃さず対応できるようにしていく。

反省① クリスマス工作週間は事故なく楽しんで頂いた。クリスマス週間は12/19(土)より行う。今年は昼食のバイキング中止、訪問中止となるのでデイ職員が出し物をする。

- ② 感染症の流行する時期になっているので、引き続き感染症対策をしっかり行う事が出来た。また、12/9に感染症対策会議を行い、手洗いチェッカー、吐物処理セットの確認や吐物処理の実践研修を行った。※欠席者には個別に教える。
- ③ 大掃除を計画的に早く行う事が出来た。順次クッションカバーを洗濯し、最終日に浴室排水溝を洗う。
- ④ 利用者様の状態をしっかり確認し、変化を見逃さず対応を行っていたが、12/15脱衣場での転倒事故があった。

1月の目標① 引き続き、感染症対策、利用者には送迎時、検温、手指消毒等をしてもらう様に、声掛けをしっかり行っていく。食事の際には手洗い（ウエットティッシュで手を拭く）をしていただく。職員も出勤時には必ず、朝の検温、手洗い、うがいを徹底し記載を行う。加湿をしているが、換気を行うと湿度が下がってしまうので50%を切るようならバスタオルを濡らし湿度を保つようにする。

- ② お正月は獅子舞や初釜行事がコロナウイルスの影響で行えないので変わりになる様な物を検討している。(絵馬づくり等)
- ③ 日が暮れるのが早いので、帰りの送迎時には必ず車のライトを点灯、懐中電灯などで足元を照らし、十分注意をして事故なく送迎をしていく。
- ④ 来年1月より日曜日が定休となるので、勤務体制等、対応していく。
- ⑤ 定時の消毒をしている(12時・14時・16時半)ため、トイレや廊下の手すりが錆びてしまっているので磨いて行く予定。

反省① 感染症対策を実施、送迎時の検温・手指消毒をしてもらいマスクの持参が無い場合、ケアプラザの不織布マスクを着用して頂く様に対応している為(ウレタンマスクは使用不可とした)、マスク着用率は向上している。職員は出勤時に必ず朝の検温、手洗い、うがいを徹底し記録用紙に記載を行い、不織布マスクを使用する様に今後も徹底していく。居室の加湿は50%を切らないよう対応をしているが、常時換気を行っているため50%を維持出来ない事も有り、バスタオル等を濡らし居室内に干している。それでも維持できない事が有るので、今後の課題として残っている。

- ② 新型コロナウイルス感染症対策により、初釜週間では茶器を使用してお茶

の提供が出来ず、気分を味わって頂く為に例年とは形を変え、今までに提供した事はない『抹茶オレ・ほうじ茶オレ』を召し上がって頂いた。利用者の皆様から好評を頂くことができた。

- ③ 帰りの送迎時には必ずヘッドライト・室内灯を点灯し、懐中電灯などで足元を照らし事故なく送迎できたが、他の戸塚区内のケアプラザでの事故を受けてより慎重に送迎時の対応に取り組む事を職員で確認し合った。
- ④ 1月より日曜日が休業日となり勤務体制や業務の見直しを行うと同時に、今まで手を付ける事が出来なかったロッカー等の修繕も行う事が出来たので、今後も日曜日の使い方を検討して行きたい。
- ⑤ 定時の消毒を今までは『次亜塩素酸希釈液』で行っていた為、各所で金属が錆びてしまい修繕したので、主な消毒はアルコール消毒に替え『必要に応じて各所では継続して次亜塩素酸希釈液』を使用する事にした。

- 2月の目標
- ① 1/27～2/2の節分週間や他の月間行事も予定しているので、職員全員で新型コロナウイルス感染症対策をより徹底して行い事故なくすごして頂く。
  - ② 引き続き感染症対策に力を入れ、発熱または体調不良時には別室（E型等）に移動して頂き対応していく。
  - ③ 職員の皆さんにも継続して『感染対策』を実施して頂く。

- 反省
- ① 1/27～2/2の行事中は事故もなく、感染対策を行う事が出来た。
  - ② 引き続き感染症対策に力を入れ、発熱または体調不良時には別室（E型等）に移動して頂く対応をした。ご自宅又は送迎車で、非接触の体温計での検温は異常なかったが来所後発熱される利用者様が2名（1人は救急搬送・1人は帰宅）発生する事案あり。対応を行う事が出来た。
  - ③ 職員全員も感染対策を行う事が出来た。

- 3月の目標
- ① ひな祭り週間を利用者様に楽しんで頂き事故なく終える。
  - ② 引き続き感染症対策に力を入れて、発熱または体調不良時には別室（E型等）に移動して頂き対応をする。
  - ③ 職員全員が効率的に仕事を進めて出来る限り早く仕事を終えるように努力をする。
  - ④ 暖かくなってきたため脱水・熱中症対策をする。

- 反省
- ① ひな祭り週間を利用者に事故なく楽しんでいただく事ができた。
  - ② 感染症対策に力を入れているが、加湿器の水が空になっている事が多々あった。バスタオル等での加湿を行うなど、再度職員全員認識をしていかなければならない。送迎時に検温を行っているが、来所後に発熱または体調不良が確認される事があった。別室（E型）に移動していただき対応を行っている。
  - ③ 働き方改革に伴い、職員全員が効率的に仕事を進めて出来る限り早く仕事を終えるように努力をしている。（利用者のロッカー札と食札を無くし、座席表を見やすくラミネートで曜日ごとにまとめ効率性を図った。）
  - ④ 暖かくなってきたので、脱水・熱中症対策の呼びかけを行っている。

## 5) 居宅介護支援事業

- 4月の目標
- ① 保険者からの感染対応通知に基づき、柔軟に対応していく。
  - ② 前年度の書類の整理を計画的に行い、保管期限が終了した書類を処分する。

- 反省
- ① 保険者からの感染対応通知に基づき柔軟に対応した。
  - ② 前年度書類の整理を計画的に行い保管期限が終了した書類を処分した。また新年度書類の保管場所を確認した。

- 5月の目標
- ① 利用している他事業所との情報共有を行う。
  - ② 不測事態に備えた業務手順の確認をする。

- 反省
- ① 利用している他事業所との情報共有を行った。

- ② 行政からの通知等の情報を集めて不明な点は横浜市に問い合わせをして内部共有をする等、不測の事態に備えた。
- 6月の目標 ① 引き続き体調の管理に努め、ケアマネジャーが万が一感染した場合に備えて、ケースの情報共有や連絡体制を確認する。
- 反省 ① 出勤前の検温を徹底し体調の管理に努めた。ケアマネジャーが万が一、感染した場合に備えてケースの情報共有や連絡体制が完全に整備されていない。
- 7月の目標 ① 引き続き、体調の管理に努め、ケアマネジャーが万が一、感染した場合に備えてケースの情報共有や連絡体制を確認する。
- ② 気温が本格的に上昇するため、熱中症や脱水、食中毒等の予防の声かけをモニタリング時や電話等で行う。
- 反省 ① 引き続き、コロナ感染予防などの体調の管理に努めた。ケアマネジャーが万が一感染した場合の居宅介護支援事業所内のケース共有や連絡体制はまだ不十分であった。
- ② 気温が本格的に上昇するため、熱中症や脱水、食中毒等の予防の声かけをモニタリング時や電話等で行った。
- 8月の目標 ① コロナ感染の非常事態宣言解除後も感染者数が増加しているため、職員は引き続き体調の管理に努め、ケアマネジャーが万が一、感染した場合に備えてケースの情報共有の強化をはかる。
- ② 今年は猛暑となることが予測されているため、熱中症や脱水にならないように、ケアプランの内容確認を行い、モニタリング時や電話等で随時健康確認などを行う。
- 反省 ① 事前に情報共有を行うことで突発対応があっても対応できるように努めた。
- ② 担当している利用者が熱中症や脱水にならないようモニタリング時や電話等で確認を行った。
- 9月の目標 ① 職員は引き続き、体調の管理に努め、ケアマネジャーが万が一、感染した場合に備えて、また担当職員が休みの際他の職員が対応できるようケースの情報共有の強化をはかる。
- ② 8月に引き続き熱中症や脱水にならないように、ケアプランの内容確認を行い、モニタリング時や電話等で随時健康確認などを行う。
- 反省 ① 職員は引き続き体調管理に努めた。また担当者が週休となる前に事前にケースの情報共有を行い適切な対応を行えるようにした。
- ② 熱中症や脱水にならない様にケアプランの内容確認を行い、モニタリングを行った。
- 10月の目標 ① ご利用者は寒暖差により体調を崩しやすいので、電話モニタリングなどを行い、継続的にコロナ等の感染症予防に向けた呼びかけをする。
- ② 感染症対策は継続して行い、ケアマネジャーが出勤停止になった場合に際して対応出来るシステムの構築を進める。
- 反省 ① 今回体調を崩された方はいなかったが、今後も継続してモニタリング時にも確認をしていく。
- ② 職員の体調については問題なかったが、感染拡大を想定した在宅ワークでの「ほのぼのクラウド型ソフト」を検討したが、予算が足りず構築はできなかった。
- 11月の目標 ① 電話等のモニタリング時に体調確認とともにインフルエンザ予防接種状況の確認を行う。
- ② 感染拡大を想定して義務である週一度の居宅会議をオンラインで試行する。
- 反省 ① 電話等のモニタリング時に体調確認と共にインフルエンザ接種状況の確認を行った結果、心配されるケースは無かった。
- ② 感染拡大を想定し、義務である週1度の居宅会議をオンラインで試行した。
- 12月の目標 ① 年末年始の休館中の対応が出来るように情報共有等の準備を行う。
- ② ICT機器の取り扱いを熟知する。
- 反省 ① 居宅会議にて年末年始の休館中の対応が出来るように情報共有等の準備を行った。
- ② ICT機器の取り扱いを熟知し、定期的にリモートでの会議、研修に参加して



いる。

- 1月の目標 ① コロナを含めた感染症が流行しているので引き続き感染症の予防の呼びかけと体調変化に留意したモニタリングを行う。
- 反省 ② コロナを含めた感染症が流行しているので引き続き感染症の予防の呼びかけと体調変化に留意したモニタリングを行った。
- 2月の目標 ① コロナ感染予防の為に各施設サービス提供の縮小に伴う、サービス調整がスムーズに行えるように、情報共有をしっかりとる。
- ② 人員配置変更の為に、ケースの引き継ぎをしっかりと行う。
- 反省 ① コロナ感染予防の為に、縮小している施設サービスの情報を共有して、スムーズにサービス調整を実施した。
- ② 人員の配置交代に伴い、御契約者（御利用者）への説明を丁寧に行いながら、後任担当者への引き継ぎを計画的に実施した。
- 3月の目標 ① 4月からの制度改正の内容を熟知する。
- ② 新年度の人員の配置交代に伴い、引き続き、御契約者（御利用者）への説明を丁寧に行いながら、後任担当者への引き継ぎを計画的に実施する。
- 反省 ① 4月からの制度改正について、情報収集をWEB研修などで行い理解を深めた。
- ② 人員配置の変更のため、同行訪問を行いケースの引き継ぎを進めている。

<別表2>防災訓練実施結果

日時	場所	参加者	内容
令和2年7月18日(土) 10:00～11:00	多目的ホール	戸塚原宿住宅住民、ケアプラザ職員、横浜市住宅供給公社職員、戸塚消防署大正消防出張所所長	大正消防署出張所所長による「家庭でできる防災対策」についての講話、「防災よこはま」のDVD鑑賞を実施。水消火器訓練。
令和2年9月14日(月)～18日(金)	事務所	ケアプラザ事務所職員	台風による風水害を想定し、福祉避難所情報共有システムを使用して、被害状況を事務局(市社協)へ報告をする「福祉避難所情報共有システム活用訓練」を実施。
令和2年10月22日(木) 14:00～14:50 17:20～17:30	デイルーム	デイ利用者、ケアプラザ職員	地震発生後、デイ厨房からの出火を想定し、デイ利用者を安全な場所へ誘導する避難訓練と、連絡通報訓練、職員による水消火器使用訓練を実施。
令和2年12月5日(土) 10:00～11:00	多目的ホール	戸塚原宿住宅住民、ケアプラザ職員、横浜市住宅供給公社職員、戸塚消防署大正消防出張所所長	大正消防署出張所所長による「災害時の避難」についての講話、「防災よこはま」のDVD鑑賞、119番通報訓練を実施。水消火器訓練。
令和3年2月8日(月)～12日(金)	事務所	ケアプラザ事務所職員	福祉避難所共有システム操作訓練及び災害時優先携帯電話にて戸塚区役所情報共有システム閲覧用電話へのメール送信訓練。
令和3年3月11日(木) 14:20～14:50 17:20～17:30	デイルーム・駐車場	デイ利用者、ケアプラザ職員	地震発生後、デイ厨房からの出火を想定し、デイ利用者を安全な場所へ誘導する避難訓練と、連絡通報訓練、職員による水消火器使用訓練を実施。
令和3年3月11日(木)～18日(木)	事務所	ケアプラザ事務所職員	元禄型関東地震により、自施設はどのような被災状況になるか、施設内被災状況を想定し、福祉避難所情報共有システムを使用して、事務局(市社協)へ報告をする訓練を実施。

＜別表3＞研修

デ介・デ相・デ看・デ調＝デイサービス介護職員・生活相談員・看護職員・調理職員

居介＝居宅介護支援事業所介護支援専門員

地コ・地サ＝地域交流コーディネーター・サブコーディネーター

包主・包福・包保・包看・包事・包予＝地域包括支援センター主任介護支援専門員・社会福祉士・保健師・看護師・事務職・予防プランナー

生コ＝生活支援コーディネーター

	日時	研修名	内容	場所	参加者
1	4月1日	新人職員オリエンテーション	法人の歴史、理念、利用者への援助、利用者との契約、家族との関わり、高齢者の健康、衛生管理・感染対応、高齢者の食事、サービス規程・法令順守について他	聖母の園	長谷川(デ看) 大山(デ調)
2	4月11日	介護リハビリ研究会定例会	コロナ禍 - 介護から発信したいこと -	原宿地域ケアプラザ	坂巻(包主)
3	4月15日	地域交流研究会	事例検討会の進め方研修 1	横浜市健康福祉総合センター	小林(地コ)
4	4月22日	園内研修 (聖母と合同)	就業規則・サービス規程 (倫理規定・身体拘束防止・虐待防止・個人情報)	聖母の園	全職種
5	5月12日	地域連携チーム説明会 (ハートプラン編)	地域連携チームの業務について他	戸塚区役所	小林(地コ)・ 奥山(生コ)
6	5月9日	介護リハビリ研究会定例会	コロナ禍 - 介護から発信したいこと - (議題持越し)	原宿地域ケアプラザ	坂巻(包主)
7	5月21日	職場研修	個人情報の利用目的、個人情報取扱規則他	原宿地域ケアプラザ	全職種
8	5月27日	園内研修 (聖母と合同)	4月の議題持越し	聖母の園	全職種
9	6月13日	介護リハビリ研究会研究発表会	コロナ禍 - 介護から発信したいこと - 研究発表大会	原宿地域ケアプラザ	坂巻(包主)
10	6月24日	園内研修 (聖母と合同)	認知症の理解と対応	聖母の園	全職種
11	6月29日	県主催 経営マネジメントセミナー	with コロナで考える緊急事態時の労働管理	オンライン研修 (Zoom)	葛西(所長)
12	7月11日	介護リハビリ研究会研究発表会	コロナ禍 - 介護から発信したいこと - 介護保険事業所の現状	原宿地域ケアプラザ	坂巻(包主)
13	7月16日	職場研修	新型コロナウイルス感染症対策研修、備蓄品の共有と罹患時のルール	原宿地域ケアプラザ	全職種
14	7月17日	介護予防研修 基礎編	横浜市の高齢者の状況と介護予防、ロコモティブシンドロームの理解と予防他	横浜市健康福祉総合センター	土井(包看)
15	7月21日	現代型労務問題Q&Aセミナー	メンタルヘルス不調者への対応&パワハラとは何か?	オンライン研修 (Zoom)	葛西(所長)
16	7月22日	園内研修 (聖母と合同)	腰痛予防について	聖母の園	全職種
17	7月23日	認定調査員研修	調査員としての基礎知識、認定調査の実施方法等について	オンライン研修	葛西(所長)
18	8月7日	介護リハビリ研究会研究発表会	コロナ禍で想うこと	原宿地域ケアプラザ	坂巻(包主)
19	8月28日	コーディネーター共通研修応用編	個別支援と地域支援の一体的な取組	横浜市健康福祉総合センター	奥山(生コ)

<別表3>研修

デ介・デ相・デ看・デ調=デイサービス介護職員・生活相談員・看護職員・調理職員

居介=居宅介護支援事業所介護支援専門員

地コ・地サ=地域交流コーディネーター・サブコーディネーター

包主・包福・包保・包看・包事・包予=地域包括支援センター主任介護支援専門員・社会福祉士・保健師・看護師・事務職・予防プランナー

生コ=生活支援コーディネーター

20	9月1日	チームリーダーのための人材育成研修	組織における人材育成の意義とチームリーダーとしての役割の確認	ウィリング横浜	篠原(デ介)
21	9月1日	新型コロナウイルス感染症対策研修	新型コロナウイルスとは?、予防するためには、万が一感染者が出た時の対応	聖母の園	葛西(所長)・奥山(生コ)・河辺(居介)・内野(デ相)
22	9月4日	高齢者虐待の防止について	高齢者虐待とその対応、自己点検シート他	ウィリング横浜	太田裕(デ介)
23	9月7日	令和2年度第2回生活支援体制整備事業研修	事業の背景・関連制度との連動性	横浜市健康福祉総合センター	奥山(生コ)
24	9月10日	ウィズコロナに対応するヘルスケアを考える	ウィズコロナでの不安を軽減するためのコントロール術	ウィリング横浜	奥山(生コ)
25	9月12日	介護リハビリ研究会研究発表会	議題未定	原宿地域ケアプラザ	坂巻(包主)
26	9月15日	生活支援交流会・居宅介護支援事業所連絡会研修会	高齢者の低栄養と栄養補助について、インフォーマルサービスについて	原宿地域ケアプラザ	青山(居介)
27	9月15日	安全運転管理者講習	事故の警告ヒヤリハット、道路交通法改正に至った経緯他	戸塚公会堂	瀧澤(デ相)
28	9月16日	経営マネジメントセミナー	介護事業所におけるBCP(事業継続計画)策定	オンライン研修 (Zoom)	葛西(所長)
29	9月16日	在宅におけるチーム医療を担う人材育成研修	高齢者と精神疾患を抱える家族の支援を考える	戸塚公会堂	葛西(所長)
30	9月17日	コーディネーター共通研修応用編	現職コーディネーターから学ぶ地域支援における目標設定や業務連携の実践	フォーラム南太田	奥山(生コ)
31	9月17日	職場研修	新型コロナウイルス感染症対策研修、ハラスメント研修	原宿地域ケアプラザ	全職種
32	9月23日	園内研修(聖母と合同)	食中毒(予防とまん延防止)感染症(予防とまん延防止)	聖母の園	全職種
33	9月25日	甲種防火管理者再講習	火災予防の実効性向上他	横浜市研修センター	葛西(所長)
34	9月27日	在宅医療トレーニングセンター研修会	高度医療機関・一般病院・介護施設からの事例報告	オンライン研修 (Zoom)	青山(居介)
37	10月1日	新人職員オリエンテーション	法人の歴史、理念、利用者への援助、利用者との契約、家族との関わり、高齢者の健康、衛生管理・感染対応、高齢者の食事、服務規程・法令順守について他	聖母の園	長谷川(デ看) 大山(デ調)
38	10月9日	個別機能訓練加算を見直す! デイサービス向け収益直結セミナー	自立支援に資する機能訓練、サービスの質の証明他	オンライン研修	葛西(所長)
39	10月10日	介護リハビリ研究会定例会	議題未定	原宿地域ケアプラザ	坂巻(包主)
40	10月13日・14日	認知症対応型サービス事業管理者研修	地域密着型サービス基準、地域密着型サービスの取組他	神奈川県中小企業共済会館	内野(デ相)

<別表3>研修

デ介・デ相・デ看・デ調=デイサービス介護職員・生活相談員・看護職員・調理職員

居介=居宅介護支援事業所介護支援専門員

地コ・地サ=地域交流コーディネーター・サブコーディネーター

包主・包福・包保・包看・包事・包予=地域包括支援センター主任介護支援専門員・社会福祉士・保健師・看護師・事務職・予防プランナー

生コ=生活支援コーディネーター

41	10月15日・16日・17日	社会福祉法人会計実務講座「入門コース」	会計担当者が押さえるべき社会福祉法人・施設を取り巻く状況他 (スクリーニング⇒オンライン研修へ変更)	オンライン研修	奥山(生コ)
42	10月19日	障害福祉入門研究会	障がい者と家族が望む支援	オンライン研修	小林(地コ)
43	10月28日	介護労働者雇用管理責任者講習	介護労働における義務と退職秩序の保持及び懲戒処分	ウィリング横浜	葛西(所長)
44	10月28日	<del>園内研修(聖母と合同)</del>	緊急時の対応	聖母の園	全職種
45	11月4日	あなたを守るハラスメント対策	ハラスメントの傾向と特徴を知る他	横須賀市生涯学習センター	有我(居介)
46	11月5日	感染症対策指導者養成研修	新型コロナウイルス感染症の基本的な流れ	オンライン研修	奥山(生コ)
47	11月14日	介護リハビリ研究会定例会	地域ケアプラザの役割他	原宿地域ケアプラザ	坂巻(包主)・ 渡邊(包社)・ 土井(包看)・ 小林(地コ)・ 奥山(生コ)・ 有我(居介)
48	11月16日	学校運営協議会研修	なぜ協働が必要か、現在ある既存の組織、学校運営協議会とまち懇の違い他	横浜花咲ビル	小林(地コ)
49	11月19日	職場研修	福祉避難所段ボール間仕切り訓練、嘔吐処理(ノロ)等の対応訓練、緊急時の対応(AED他)	原宿地域ケアプラザ	全職種
50	11月25日	<del>園内研修(聖母と合同)</del>	事故防止(リスクマネジメント)	聖母の園	全職種
51	11月27日	社会福祉施設の運営基礎～現場で求められる人材育成とは～	実践的理念と命題的理念の融合を目指す専門職としての資質	ウィリング横浜	奥山(生コ)
52	12月2日	能力開発啓発セミナー「人を育て組織力を高めるには」	働き方改革関連法、定着率の高い職場とは他	オンライン研修	奥山(生コ)
53	12月2日	キャリアアップ講習会「早期離職防止の決め手と言われるメンター制度とは」	人材定着のための5つの施策、人材定着を阻む課題の解決と予防等	オンライン研修	葛西(所長)
54	12月2日	包括的継続的ケアマネジメント支援業務研修	Withコロナの時代における高齢者を支える取組を考える他	かながわ労働プラザ	坂巻(包主)
55	12月4日	甲種防火管理者再講習	火災予防の実効性向上他	横浜市研修センター	奥山(生コ)
56	12月9日	失語症の方の自立支援	失語症の自立支援他	オンライン研修	蛸名(包予)
57	12月9日	<del>園内研修(聖母と合同)</del>	ターミナルケア(精神的ケア)	聖母の園	全職種
58	12月11日	職場内パートナーシップを広げるリーダーの役割	背景の大切さ、これからの介護・福祉他	オンライン研修	奥山(生コ)
59	12月11日	認知症の人への食支援	摂食嚥下機能の加齢変化他	オンライン研修	河辺(居介)

<別表3>研修

デ介・デ相・デ看・デ調=デイサービス介護職員・生活相談員・看護職員・調理職員

居介=居宅介護支援事業所介護支援専門員

地コ・地サ=地域交流コーディネーター・サブコーディネーター

包主・包福・包保・包看・包事・包予=地域包括支援センター主任介護支援専門員・社会福祉士・保健師・看護師・事務職・予防プランナー

生コ=生活支援コーディネーター

60	12月12日	介護リハビリ研究会定例会	今の時代を笑顔で生き抜くコツ、かけがえのない大切な人それはあなたです	原宿地域ケアプラザ	坂巻(包主)
61	12月14日	戸塚区セーフティネット会議	ひきこもり、いわゆる8050問題を考える	戸塚区役所	小林(地コ)
62	12月14日	地域包括研究会	地域活動において専門職は伴走者である他	横浜市健康福祉総合センター	土井(包看)
63	12月18日	地域包括研究会	長期高齢化する引きこもりの人とその家族にどのように向き合うか	横浜市健康福祉総合センター	坂巻(包主)
64	12月22日・23日・24日	社会福祉法人会計実務講座「初級コース」	社会福祉法人における適正な会計処理の重要性について他(スクリーニング⇒オンライン研修へ変更)	オンライン研修	奥山(生コ)
65	1月7日	介護労働者雇用管理責任者講習～介護労働者の勤務管理～	労働時間、休憩、休日他	ウィリング横浜	奥山(生コ)
66	1月9日	介護リハビリ研究会定例会	各職種の情報交換会	原宿地域ケアプラザ	坂巻(包主)
67	1月13日	戸塚区介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務従事者研修	議題未定	オンライン研修	葛西(所長)
68	1月15日	高齢者虐待防止事業講演会	8050問題の理解と支援	男女共同参画センター横浜	葛西(所長)・坂巻(包主)・青山(居介)
69	1月19日	介護労働者雇用管理責任者講習	介護労働における義務と退職秩序の保持及び懲戒処分	ウィリング横浜	奥山(生コ)
70	1月20日	職場研修	就業規則・服務規程(倫理規定)、認知症の理解と対応、腰痛予防、事故防止、ターミナルケア、メンタルヘルス	原宿地域ケアプラザ	全職種
71	1月21日	主任ケアマネジャー更新研修	「リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例」講義・演習	藤沢商工会議所	坂巻(包主)
72	1月26日	主任ケアマネジャー更新研修	「入退院時等における医療との連携に関する事例」講義・演習	藤沢商工会議所	坂巻(包主)
73	1月26日	戸塚区地域自立支援協議会	障害児者の権利擁護・虐待について他	オンライン研修	小林(地コ)
74	1月26日	ウィリング横浜主催研修「苦情対応基礎研修」	苦情対応の基礎知識他	ウィリング横浜	山本(デ介)
75	2月5日・15日	ウィリング横浜主催研修「後輩育成のためのOJT基礎研修」	人材育成の重要性を理解する他	ウィリング横浜	江藤(デ介)
76	2月8日	令和2年度第4回生活支援体制整備事業研修	生活支援コーディネーターが行う地域づくり	横浜市健康福祉総合センター	奥山(生コ)
77	2月8日	戸塚区地域施設間連携促進事業	ROUTE7プロジェクト活動紹介、施設間連携を行ったメリット他	オンライン研修	小林(地コ)
78	2月8日	子育て連絡会全体会	事例発表、楽しみ方のエッセンスを与えることが大切(マップ作りの基本)他	原宿地域ケアプラザ	小林(地コ)

<別表3>研修

デ介・デ相・デ看・デ調=デイサービス介護職員・生活相談員・看護職員・調理職員

居介=居宅介護支援事業所介護支援専門員

地コ・地サ=地域交流コーディネーター・サブコーディネーター

包主・包福・包保・包看・包事・包予=地域包括支援センター主任介護支援専門員・社会福祉士・保健師・看護師・事務職・予防プランナー

生コ=生活支援コーディネーター

79	2月9日	主任ケアマネジャー更新研修	「看取り等における看護サービスの活用に関する事例」講義・演習	藤沢商工会議所	坂巻(包主)
80	2月10日	ウィリング横浜主催研修「専門力を高める」	プレゼンテーションについて	ウィリング横浜	瀧澤(デ相)
81	2月13日	介護リハビリ研究会定例会	訪問診療について	原宿地域ケアプラザ	坂巻(包主)
82	2月16日	主任ケアマネジャー更新研修	「家族への支援の視点が必要な事例」講義・演習	藤沢商工会議所	坂巻(包主)
83	2月19日	戸塚区地域施設間連携促進事業	おどりば・ぐみさわ図書巡りスタンプリリー事例紹介他	オンライン研修	小林(地コ)
84	2月21日	制度に学ぶ研修～生活保護制度とは～	生活保護を利用するにあたっての基礎知識他	オンライン研修	有我(居介)
85	2月24日	主任ケアマネジャー更新研修	「社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例」講義・演習	藤沢商工会議所	坂巻(包主)
86	2月24日	園内研修(聖母と合同)	メンタルヘルス	聖母の園	全職種
87	2月26日	ウィリング横浜主催研修「組織力を高める」	伝える、伝わる記録の書き方	ウィリング横浜	江藤(デ介)
88	3月5日	主任ケアマネジャー更新研修	「認知症に関する事例」講義・演習	藤沢商工会議所	坂巻(包主)
89	3月8日	地域交流研究会研修	地域活動交流COの仕事とは他	ウィリング横浜	小林(地コ)
90	3月10日	あなたも当事者活動の応援団	セルフヘルプグループに学ぶ他	オンライン研修	小林(地コ)
91	3月10日	老施協 介護報酬改定解説研修	令和3年介護報酬改定	オンライン研修	内野(デ相)
92	3月11日	食品衛生責任者指定講習会 戸塚区食品衛生協会主催	HACCPに沿った衛生管理、新型コロナウイルス他	戸塚公会堂	マリア(デ調)
93	3月13日	介護リハビリ研究会定例会	介護報酬改定について	原宿地域ケアプラザ	坂巻(包主)
94	3月17日	主任ケアマネジャー更新研修	「状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービス、施設サービス等)の活用に関する事例」講義・演習	藤沢商工会議所	坂巻(包主)
95	3月18日	職場研修	就業規則・服務規程(倫理規定)、認知症の理解と対応、腰痛予防、事故防止、ターミナルケア、メンタルヘルス	原宿地域ケアプラザ	全職種
96	3月24日	園内研修(聖母と合同)	来年度予算報告、年間大目標、事業計画	聖母の園	全職種
97	3月26日	地域交流研究会研修	コーディネーターの仕事の進め方他	横浜市健康福祉総合センター	小林(地コ)

※取り消し線は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

横浜市原宿地域ケアプラザ

(地域交流)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
主催 傾聴ボランティア養成講座	地域住民対象 高齢者等の個人宅や施設訪問を目的とした傾聴ボランティア養成講座を実施し、今年度は16名の参加があった。カリキュラムに認知症サポーター養成講座を組み入れ「認知症の理解」の普及も行った。講座受講生の中から、傾聴ボランティア虹への参加を促している。傾聴活動は現在施設1件、個人宅4件お受けしている。	8月26日 9月2日 9月9日 9月23日  計 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
主催 あったまり場	こころの病のある方、家族、地域住民対象 第4月曜日実施。 今年度は懇談を中心としたプログラムとして開催。 (コロナウイルス感染症拡大防止の為4月、5月は中止)	毎月第4月曜日 10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催 子育て連絡会	保育園、主任児童委員、子育て支援拠点、区役所、子育てサークル、子育て支援者、高齢者施設等対象 今年度は3回の子育て連絡会を実施。コロナ禍における親子の集いの場などの情報提供の方法について共有し、また年間スケジュールを可視化し共有を図っていく。 昨年度は公園あそびを大正地区で3回実施。 延べ88名の親子の参加を頂き少しずつではあるが活動が広がってきている。また、コロナ禍において改めて外遊びの重要性を感じている。 来年度も3回の公園あそびを予定している。	9月25日 12月11日 3月18日 計 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
主催 障がい学習会 「地域であたり前に豊かに暮らしていくために」	障害のあるこどもの保護者どうしの情報交換や研修を通し、地域に必要なサービスなどの開発や関係機関とのネットワーク作りにつなげることが目的。 (コロナウイルス感染症拡大防止の為2月は中止)  不定期開催。 ぐるーぷちえのわ共催。 「地域で暮らす」や、「授産所の役割について」について外部講師を招き講座を実施し、延べ31名の方が参加した。	9月17日 12月10日  計 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催 ボランティア総会	聖母の園、横浜市原宿ケアプラザ、深谷俣野地域ケアプラザで活動するボランティア対象  (コロナウイルス感染症拡大防止の為中止)	中止



横浜市原宿地域ケアプラザ

(地域交流)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
主催 原宿ふれあい文化祭	地域住民対象 大正地区の住民同士のつながりの場作りを目的に開催を計画していたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の為中止となった。	中止
事業名	目的・内容	実施時期・回数
主催 おしゃべりカフェ	地域住民の居場所の1つとして、平成30年度からケアプラザにてカフェをオープンした。 新たなボランティアの担い手を創出させる狙い。 計2回実施し延べ55名の方が参加した。 (新型コロナウイルス感染症拡大防止の為4月～9月、12月～3月は中止)	10月1日 11月5日 全2回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
後方支援 原宿フリーマーケット	原宿商店街主催のフリーマーケット。多世代の交流と地域の活性化  新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	中止
事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催 大正プロジェクト	近隣小学校の個別支援級に在籍する子どもたちの放課後の活動支援と地域住民に向けた障害の理解や住民同士の交流  今年度は近隣のスポーツジムに講師の依頼を行い開催。また地域ボランティアの協力のもと、エアロビ、風船バレー、けん玉などのプログラムを実施。 (新型コロナウイルス感染症拡大防止の為4月～6月、1月、2月は中止)	9月30日 10月28日 11月25日 計3回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催 父親育児講座	ダブルケア(父親の育児参加)の一環として父親育児講座を計画(コロナ禍における夫婦間でのコミュニケーションとイライラしない子育て)をしていたが、緊急事態宣言を受け中止となった。	中止 (2月6日)
事業名	目的・内容	実施時期・回数
主催 手話講座	精神障害普及啓発事業として開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為今年度は中止となった。	中止
事業名	目的・内容	実施時期・回数
主催 東北チャリティイベント	ケアプラザ貸し館団体の活動発表、大正地区の住民たちの交流とケアプラザ事業の周知。また、売り上げは東北で復興支援や子どもの支援をしている団体等への寄付活動を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止となった。	中止

横浜市原宿地域ケアプラザ

(地域交流)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
主催 うたごえサロン	地域の居場所の一つとして新たに月1回の歌の会を令和元年10月から開催。 地域の方より新たな歌の会を立ち上げていただきたいとの要望もあり、講師等の調整を行い今年度は3回実施し、延べ78名の参加。 (コロナウイルス感染症拡大防止の為4月～8月、12月～3月は中止)	9月26日 10月24日 11月28日  全 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催 たいしょう食堂	子どもから高齢者までどなたでも参加できる食堂を令和元年度から地区センターを会場として開催していたが、コロナウイルス感染症拡大防止の為食堂としての活動は出来なかった為、食品配布会へ形を変えて開催。合計で3回、延べ271名の参加。 (次年度以降感染状況を踏まえながら食堂の再開を目指していく)	9月20日 12月6日 3月14日 全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催 にこにこフリーマーケット	地域の子どもを中心としたフリーマーケットの開催を通じ、母親同士の交流、地域の公共施設の役割などを知っていただくことを目的として、令和2年12月実施し、出店者12組、延べ150名の参加者。 次年度以降も年2回程度開催予定	12月13日

横浜市原宿地域ケアプラザ

(地域包括支援センター)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきいき健康体操	地域への介護予防普及啓発を目的として「ロコモ予防」「口腔機能向上」の講座を計6回開催した。講座終了後、OB会の立ち上げ支援を行い、介護予防活動グループ「GOGO体操」が立ち上がった。OB会立ち上げの支援を行った。	10月7日 10月15日 10月29日 11月4日 11月19日 12月2日 全6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催 楽しくトレーニングしよう会	保健活動推進員と共催で、脳トレーニングと体操（ハマトレ、はまちゃん体操）を地域の高齢者に向けて開催した。体操講師として、はまちゃん体操普及員とハマトレリーダー養成講座終了者に指導をして頂いた。11月には認知症予防の音楽療法も併せて開催「新型コロナウイルス」感染症拡大防止のため4月～8月、1月～3月は中止)	9月27日 10月25日 11月22日 12月20日 全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康講座 「認知症の症状と対応方法について」	地域住民の認知症の正しい知識と周辺症状に対する対応方法についての普及啓発を目的とし、協力医による講座を開催した。	11月26日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気づくりステーション 「こすずめ健康ライフ」	身近な場所での介護予防活動の存続を目的として、地域の会場で行われている体操、脳トレ等の後方支援を区役所と協働し行った。「新型コロナウイルス」感染拡大防止のため4月～6月、12月第3週～3月第2週は中止	毎月2回 第2・4月曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
さざん花の会	地域の会場で行われている介護予防活動グループが自主的な活動が継続できるよう支援を行った。「新型コロナウイルス」感染拡大防止のため4月～5月、1月～3月は中止	毎月2回 第2、4火曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ADL体操でからだメンテナンス講座	ケアプラザで活動しているが、参加者が減少している高齢者体操教室グループに対し、継続意欲の維持及び、新規参加者の取り込みを目的として講座を開催予定であったが、「新型コロナウイルス」感染拡大防止のため中止となった。	中止

横浜市原宿地域ケアプラザ

(地域包括支援センター)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気づくり ステーション GOGO健康クラブ	身近な場所での介護予防活動の存続を目的として、地域の会場で行われている体操、脳トレ等の活動グループに対して広報支援を行った。 「新型コロナウイルス」感染拡大防止のため4～6月、1～3月は中止。	月2回 第2・4水曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護リハビリ研究会開催 後方支援	持続的開催に向けた後方支援として、事務局的业务を実施。開催通知配信や会場機器設定ほか資料の印刷などを実施。依頼に応じて講師調整業務を実施。多職種連携の推進に繋がった。 年10回の開催を予定していたが、コロナウイルス感染予防のため5回の実施となった。11月はケアプラザの機能と役割について研修会を実施した。	5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネット 戸塚 後方支援 戸塚区主任cm連絡会	月に1回の定例幹事会では運営についての協議や多職種での情報交換等を行った。 コロナウイルス感染予防のため総会は書面開催し幹事会はWEBにて実施。予定していた定例会(研修)は10月を除き中止となった。 10月定例会(研修会)では「新型コロナウイルス感染対策について」を訪問看護連絡会と合同開催した。 戸塚区と共催の「人材育成研修」は感染予防を徹底して開催した。	4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催 原宿コグニサイズの会	原宿コグニサイズの会と共催で、地域の高齢者を対象に、認知症予防を目的として「コグニサイズ」の講習を行った。 「新型コロナウイルス」感染拡大防止のため4～8月、1～3月は中止。	毎月1回 第2土曜日 全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催 GOGO体操	介護予防普及啓発事業で行った講座、いきいき健康体操のOB会として12月から活動をスタートした。 会との共催により、体操講師によるストレッチ・筋力トレーニングを中心とした運動を実施。	毎月2回 第2・4火曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネジャー 事業所訪問事業	居宅介護支援事業所の訪問はコロナウイルス感染予防のため実施できない時期もあったが、電話を活用してケアマネジャーと連絡を取り合い、抱える課題等を共有した。 課題解決に向け居宅介護支援事業所連絡会で研修会を開催し、資質向上の支援を行うことができた。	定期的

横浜市原宿地域ケアプラザ

(地域包括支援センター)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
医療連携研修 戸塚区主任cm連絡会	初めての経験であるコロナ禍の中、タイムリーな課題として感染症の正しい理解と対策を目的とした研修を行った。 横浜医療センター救急救命士と副看護師長を講師に、COVID-19の概要や特徴から感染予防対策、防護服の取り扱い方、予防の為の薬剤まで短時間ではあったが詳しい内容を学んだ。	11月
事業名	目的・内容	実施時期・回数
居宅主マネ研修 戸塚区主任cm連絡会	戸塚区内の居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャー対象に「対人援助について」の研修を企画したがコロナウイルス感染予防のため中止となった。	中止
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ヘルパネット 後方支援 戸塚区主任cm連絡会	毎月、ヘルパーネット代表と幹事あてに事業の進捗についての情報共有のため電話連絡を行った。 毎回、コロナの感染予防のため、総会、研修等の開催は実施出来ない状況。総会、研修、幹事会の開催等実施されなかった。	中止
事業名	目的・内容	実施時期・回数
居宅介護支援事業所連絡会・研修会	生活支援コーディネーターと協働し、生活支援交流会・居宅介護支援事業所連絡会を実施し、ケアマネジャーの資質向上のための研修会を実施した。 7月 ①高齢者の低栄養と栄養補給に関する講座や地域のサロンの情報提供、エンシュアHi試食等を実施。サービスBの位置付けについて等。 ②「高齢者の健康管理」研修 3月 医師によ「認知症について」医療研修をケアマネジャーと民生委員の合同研修を予定していたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止とした。	1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほーめっと 後方支援 戸塚区主任cm連絡会事業	月に1回の定例幹事会では運営についての協議や多職種での情報交換等を行った。 コロナウイルス感染予防のため総会は書面開催し幹事会はWEBにて実施。予定していた定例会(研修)は10月を除き中止となった。 10月定例会(研修会)では「新型コロナウイルス感染対策について」を訪問看護連絡会と合同開催した。 戸塚区と共催の「人材育成研修」は感染予防を徹底して開催した。	5回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
栄養講座	地域への介護予防普及啓発を目的として栄養講座を開催。株式会社キューピーに出張講座を依頼し、「おいしく食べて健康に」をテーマに実施した。	10月1日

横浜市原宿地域ケアプラザ

(地域包括支援センター)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
知っ得講座（エンディングノート編）	エンディングノートの必要性や書き方を2日間にわたり周知することで、地域の高齢者が安心して生活ができるような一助とする。 実施日：8/29, 9/30 場所：原宿地域ケアプラザ 内容：戸塚区版エンディングノートをもとに外部講師を招き講座を開催。定員30名の地域住民の参加があり、エンディングノートに対する関心の高さがうかがわれた。	8月29日・9月30日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
知っ得講座（生活を守る！成年後見制度編）	成年後見制度に対する偏見や先入観をなくすため、高齢者や地域住民を対象に勉強会を開催する。 実施日：10/29 時間：14時～16時 場所：原宿地域ケアプラザ 内容：後見制度の普及に力を入れている専門職に講師を依頼し同制度を利用するメリットなどを周知した。定員15名の地域住民が参加し、エンディングノートの書き方講座と合わせ、老後の備えについての関心の高さがうかがわれた。	10月29日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よつばの会 講習会	介護者の集いである「よつばの会」において、会員の要望を反映させたテーマでの講習会を年1回開催し、介護や日常生活の中で役立ててもらおう。 実施日：10/23 場所：原宿地域ケアプラザ 内容：高齢者の食事について（低栄養や骨粗鬆症を予防するために）というテーマで、中北薬品の管理栄養士を講師に招き講習会を開催した。高齢者にとってリスクの高いテーマであったため、参加者から多くの質問があり、改めて食の大切さを認識してもらうことができた。	10月23日

横浜市原宿地域ケアプラザ (生活支援)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニアボランティア登録研修会	元気な高齢者が地域の介護施設等でボランティア活動を行うことにより、ご本人の健康維持と介護予防、社会参加・地域貢献を通じた「生きがいつくり」を促進するとともに、これからの介護施設等の地域とのつながりの深まりや施設利用者の生活をより豊かにすること。登録研修会を行うとともに、近隣の高齢者ボランティアの受入施設の職員にも参加をして頂き、施設や具体的なボランティア活動について紹介してもらい、より身近に感じてもらえる働きかけを行う。 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	中止
令和2年度生活支援体制整備事業協議体【南戸塚台】	地域情報や課題の把握、地域づくりにおける意識の統一、新たなサービス創出が目的。地域交流サロンの開催に向けて、役割分担や実施方法について検討会を実施。今年度は検討会を1回実施。	7月21日
令和2年度生活支援体制整備事業協議体【小雀ちょぼら】	地域情報や課題の把握、地域づくりにおける意識の統一、新たなサービス創出が目的。小雀町内会とハートケア横浜小雀、ケアプラザで検討会を実施予定。今年度中に1回程度。※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	中止
頑張るシニアの元気UP健康サロン	町内会（影取・東俣野）とともに、近隣施設や事業者等の協力を得ながら、健康講座とサロンを開催する。定期的に外出する機会を確保し、健康に関する講座を実施。 【テーマ】知っておこう自分の身体、地域ケアプラザの役割・介護保険の申請について、薬の基礎知識と薬局の活用方法、楽しく食べて健康に、お医者さんとの話し方にはコツがある、気持ちのいいスタイル実践編 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	中止
森のカフェこすずめ	小雀町内会は町内会活動や敬友会活動が活発に行われており、他の活動も町内会役員が活動を支援されている。現在の活動に加え、今まで実施していなかったカフェを行い、地域活動に参加されていなかった方々の掘り起こしを行う。 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	中止

横浜市原宿地域ケアプラザ (生活支援)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
令和2年度 生活支援交流 会・居宅介護事 業所連絡会	地域のケアマネジャーを対象に、高齢者の低栄養と栄養補給に関する講座や地域のサロン情報、エンシュアHi試食等を行い、在宅生活を継続するための情報をお伝えする。 ※令和3年3月25日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	9月15日
ボランティア 情報交換会	シニアボランティア登録研修会終了者及び施設見学会参加者のOB会として、ボランティア活動を継続するための意見交換会。 コロナ禍におけるモチベーションの維持、参加者の活動報告、ボランティア活動を継続するための勉強会、有償ボランティアについての情報交換などを実施。	8月3日 10月5日
知っ得講座	少しでも安心した老後を迎えることを大きな目的とし、知っておくと役に立つ情報を講座として開催する。  エンディングノートについて、介護保険制度について、福祉用具について、エンディングノート(2回目)、成年後見制度	8月29日 8月31日 9月29日 9月30日 10月29日
高齢者ボラン ティア受入施設 連絡会	ボランティアの受入体制や活動状況、活動団体等について情報交換・共有を行い、ボランティア活動等を通して施設として行っている取り組みを共有する。また、登録研修会を通して地域の方々に発信していく。 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	中止
携帯電話講座 【スマホをお持ちでない方向け】	様々な情報がスマホを通して得られる時代の中で、高齢者の皆様に向けて、まずはスマホに触れ、知って頂く機会をつくる。スマホに触れてみる機会の創出とメールや写真等、簡単なアプリ操作の実施。月に1回程度実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大により、1月以降は中止。	11月10日 11月24日 12月8日
携帯電話講座 【スマホ初心者向け】	様々な情報がスマホを通して得られる時代の中で、高齢者の皆様に向けて、まずはスマホに慣れて頂く機会をつくる。スマホを購入したが使い方が解らず、不慣れな方向けに少人数で基本的な使い方をお伝えする。月に1回程度実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大により、12月以降は中止。	11月20日



横浜市原宿地域ケアプラザ

(生活支援)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お医者さんとの 上手な話し方	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、病院との関わり（医師等）を含め、地域の方々に周知をしていきたい。お医者さんと上手に話をするコツについて、講義を頂く予定であったが、緊急事態宣言発令期間中であるため中止とした。（令和3年2月3日開催予定）	中止

事業名	目的・内容	実施時期・回数
令和2年度 生活支援体制整 備事業協議体 【ぐるーぷちえ のわ】	ぐるーぷちえのわが行っている活動をより地域に根差したものにしていきたい。具体的にはプログラムの検討や活動の周知。令和4年度のサービスB補助事業申請に向けて適宜検討会を実施。	11月9日 2月18日

<別表5>

## 地域包括支援センター 令和2年度相談受付の傾向

令和2年度は新型コロナウイルスの為緊急事態宣言が行われる中で始まった1年でした。様々な活動が抑制される中で、地域包括支援センターの相談の件数も減少しました。下に示させていただきました表からも、相談件数が前年比83.2%。対象者が認知症の相談は前年比85.8%。認知症の相談内容は前年比78.8%。介護保険の相談は前年比81.8%。など対象者も相談内容も概ね20%ほど前年を下回っています。

平成30年度から令和2年度の相談内容の推移（抜粋）

	相談件数	相談者			相談内容								
		認知症	独居	高齢者世帯	本人	家族	民生委員	介護保険	認知症	入所入院	日常生活	成年後見	虐待
H30年度	2255	315	683	596	884	1281	61	1370	100	160	697	148	35
R1年度	2156	465	757	580	725	1128	64	1473	118	142	706	272	32
R2年度	1794	399	636	530	577	931	61	1205	93	94	568	75	26

包括支援センターの相談員が現場で対応した印象としては、行動が自粛された影響で運動量が低下し、体力や筋力の低下がみられる高齢者が多く感じられています。上記の表には反映されませんが、身体状態の衰えの為介護保険の区分変更の相談が多く感じられています。

今後は更に身体の状態悪化が懸念されると共に、刺激のない暮らしが続いているため、認知症の症状が出現することを心配しています。

## 令和 2 年度 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント実績

【単位：人】

《給付管理合計者数》					
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
要支援1	321	352	380	357	
要支援2	371	370	373	364	
合計	692	722	753	721	2,888
昨年度合計 (比較データ)	754	780	792	731	3,057

【単位：人】

《新規契約合計者数》					
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
要支援1	7	13	18	9	
要支援2	8	4	9	9	
合計	15	17	27	18	77
昨年度合計 (比較データ)	26	25	18	19	88

<別表7>

令和2年度 居宅介護支援事業実績

《令和2年度利用者契約者数（四半期別）》

【単位：人】【単位：％】

	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計	前年比
要支援1・2	23	20	21	16	80	79%
要介護1	26	26	27	29	108	124%
要介護2	39	39	45	41	164	117%
要介護3	11	8	11	12	42	87%
要介護4	12	13	9	9	43	93%
要介護5	3	2	3	4	12	80%
合計	114	108	115	111	449	102%

《介護認定調査業務》 ( )内は区外

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	2	5	1	8	6
10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	1	6	3	2	2

合計 38

<別表 8 >

●通所介護事業実績

《令和 2 年度利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】 【単位：％】

	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計	前年比
要介護 1	292	371	500	460	1,623	86%
要介護 2	729	631	660	821	2,841	91%
要介護 3	535	540	514	386	1,977	81%
要介護 4	244	281	174	179	878	83%
要介護 5	236	191	222	261	908	85%
合計	2,036	2,014	2,070	2,107	8,227	86%

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
681	699	656	674	657	683
10月	11月	12月	1月	2月	3月
713	703	654	651	667	789

●横浜市通所介護相当サービス実績

《令和 2 年度利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】 【単位：％】

	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計	前年比
要支援 1	74	117	138	108	437	194%
要支援 2	195	241	216	182	834	90%
合計	269	358	354	290	1,271	110%

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
77	84	108	126	118	114
10月	11月	12月	1月	2月	3月
129	124	101	87	92	111

<別表 8 >

●出席者状況（4半期毎）

項目／月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計
定員数 (総合含)	3,640	3,680	3,560	3,000	13,880 (人)
出席者 (通所) (総合含)	2,036	2,014	2,070	2,107	8,227 (人)
	269	358	354	290	1,271 (人)
出席率 (総合含)	63.3	64.4	68	79.9	68.4 (%)
入浴 (通所) (総合含)	1,642	1,631	1,609	1,708	6,590 (人)
	185	265	257	185	892 (人)
食事 (通所) (総合含)	2,016	1,993	2,044	2,092	8,145 (食)
	269	358	354	290	1,271 (食)
1日平均人数 (総合含)	25.3	25.7	27.2	31.9	27.3 (人) (年平均)
稼働日数	91	92	89	75	347 (日)

<以上>

介護保険施設 原宿地域ケアプラザ拠点区分 資金収支計算書

第一号第四様式

自 令和 2 年 4 月 1 日 至 令和 3 年 3 月 31 日

介護保険施設 原宿地域ケアプラザ

(単位:円)

勘定科目		予 算 (A)	決 算 (B)	差異 (A) - (B)	備 考
事業活動による収支	介護保険事業収入	123,254,000	128,321,738	△ 5,067,738	①
	居宅介護料収入	85,825,000	89,307,241	△ 3,482,241	
	(介護報酬収入)	76,093,000	79,108,120	△ 3,015,120	
	介護報酬収入	76,093,000	79,108,120	△ 3,015,120	
	(利用者負担金収入)	9,732,000	10,199,121	△ 467,121	
	介護負担金収入(公費)	914,000	956,168	△ 42,168	
	介護負担金収入(一般)	8,818,000	9,242,953	△ 424,953	
	居宅介護支援介護料収入	18,328,000	18,715,753	△ 387,753	
	居宅介護支援介護料収入	17,436,000	17,799,633	△ 363,633	
	介護予防支援介護料収入	892,000	916,120	△ 24,120	
	介護予防・日常生活支援総合事業収入	7,787,000	7,680,665	106,335	
	事業費収入	7,104,000	6,987,083	116,917	
	事業負担金収入(公費)	38,000	42,425	△ 4,425	
	事業負担金収入(一般)	645,000	651,157	△ 6,157	
	利用者等利用料収入	8,564,000	8,886,055	△ 322,055	
	食費収入(一般)	7,260,000	7,540,000	△ 280,000	
	その他の利用料収入	1,304,000	1,346,055	△ 42,055	
	その他の事業収入	2,750,000	3,732,024	△ 982,024	
	補助金事業収入(公費)	1,454,000	2,497,426	△ 1,043,426	
	受託事業収入(公費)	227,000	192,500	34,500	
	法人内受託収入	1,069,000	1,042,098	26,902	
	経常経費寄附金収入	0	3,000	△ 3,000	
	寄附金収入	0	3,000	△ 3,000	
	受取利息配当金収入	2,000	2,551	△ 551	
	受取利息配当金収入	2,000	2,551	△ 551	
	その他の収入	3,593,000	3,613,224	△ 20,224	
	受入研修費収入	2,000	2,000	0	
	受入研修費収入	2,000	2,000	0	
	利用者等外給食費収入	1,239,000	1,249,750	△ 10,750	
	利用者等外給食費収入	1,239,000	1,249,750	△ 10,750	
	雑収入	2,352,000	2,361,474	△ 9,474	
	退職給付引当資産返還差額収入	41,000	41,157	△ 157	
	その他雑収入	2,311,000	2,320,317	△ 9,317	
	事業活動収入計(1)	126,849,000	131,940,513	△ 5,091,513	
	人件費支出	96,336,000	95,661,980	674,020	
	職員給料支出	36,985,000	36,890,711	94,289	
	職員俸給支出	29,908,000	29,905,900	2,100	
	管理職手当支出	136,000	135,432	568	
	主任手当支出	120,000	120,000	0	
	特殊業務手当支出	997,000	996,128	872	
	処遇改善手当支出	2,159,000	2,136,600	22,400	
	扶養手当支出	720,000	720,000	0	
	住居手当支出	740,000	740,000	0	
	宿直手当支出	1,000	1,000	0	
	時間外手当支出	867,000	799,467	67,533	
	その他手当支出	24,000	24,000	0	
	通勤手当支出	1,313,000	1,312,184	816	
	職員賞与支出	10,255,000	10,254,227	773	
	非常勤職員給与支出	35,060,000	34,597,796	462,204	
有期・無期職員賃金支出	34,334,000	33,888,276	445,724		
有期・無期職員通勤支出	726,000	709,520	16,480		
退職給付支出	3,139,000	3,106,487	32,513		
法定福利費支出	10,897,000	10,812,759	84,241		
事業費支出	15,979,000	15,258,651	720,349		
給食費支出	6,447,000	6,011,740	435,260		
給食費支出	6,447,000	6,011,740	435,260		
介護用品費支出	13,000	12,045	955		
保健衛生費支出	596,000	439,337	156,663		
被服費支出	75,000	60,000	15,000		
教養娯楽費支出	187,000	166,575	20,425		
日用品費支出	60,000	53,370	6,630		
水道光熱費支出	4,883,000	5,043,437	△ 160,437		
消耗器具備品費支出	1,265,000	1,098,259	166,741		
保険料支出	935,000	931,330	3,670		
賃借料支出	350,000	343,698	6,302		
車輻費支出	1,168,000	1,085,522	82,478		
雑支出	0	13,338	△ 13,338		
事務費支出	13,915,000	13,164,266	750,734		
福利厚生費支出	479,000	443,965	35,035		
職員被服費支出	93,000	78,933	14,067		
旅費交通費支出	21,000	3,360	17,640		
研修研究費支出	128,000	73,088	54,912		
事務消耗品費支出	1,018,000	888,534	129,466		

## 介護保険施設 原宿地域ケアセンター

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	印刷製本費支出	205,000	179,351	25,649	
	修繕費支出	2,662,000	2,326,784	335,216	
	通信運搬費支出	736,000	742,252	△ 6,252	
	広報費支出	34,000	31,261	2,739	
	業務委託費支出	3,106,000	3,105,111	889	
	業務委託費支出	1,026,000	1,025,111	889	
	法人内業務委託費支出	2,080,000	2,080,000	0	
	手数料支出	491,000	416,670	74,330	
	土地・建物賃借料支出	1,320,000	1,320,000	0	
	租税公課支出	1,292,000	1,288,800	3,200	
	保守料支出	1,764,000	1,763,311	689	
	渉外費支出	110,000	49,704	60,296	
	諸会費支出	39,000	38,542	458	
	雑支出	417,000	414,600	2,400	
	利用者負担軽減額	108,000	116,789	△ 8,789	
	居宅介護料利用者負担軽減額	108,000	116,789	△ 8,789	
	その他の支出	3,539,000	3,549,750	△ 10,750	
	利用者等外給食費支出	1,239,000	1,249,750	△ 10,750	
	雑支出	2,300,000	2,300,000	0	
雑支出	2,300,000	2,300,000	0		
事業活動支出計(2)	129,877,000	127,751,436	2,125,564		
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)	△ 3,028,000	4,189,077	△ 7,217,077		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	1,285,000	246,400	1,038,600	
	施設整備等補助金収入	1,285,000	246,400	1,038,600	
	施設整備等収入計(4)	1,285,000	246,400	1,038,600	
	支出				
	固定資産取得支出	803,000	801,680	1,320	
	器具及び備品取得支出	385,000	383,900	1,100	
	保健衛生器具備品取得支出	247,000	246,400	600	
	その他の器具備品取得支出	138,000	137,500	500	
	ソフトウェア取得支出	418,000	417,780	220	
施設整備等支出計(5)	803,000	801,680	1,320		
施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)	482,000	△ 555,280	1,037,280		
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	6,510,000	2,478,580	4,031,420 <sup>②</sup>	
	退職給付引当資産取崩収入	983,000	951,580	31,420	
	介護施設繰越積立資産取崩収入	5,527,000	1,527,000	4,000,000	
	人件費積立資産取崩収入	4,000,000	0	4,000,000	
	修繕(CP)積立資産取崩収入	1,527,000	1,527,000	0	
	その他の活動による収入	0	0	0	
	その他の活動収入計(7)	6,510,000	2,478,580	4,031,420	
	支出				
	積立資産支出	998,000	996,665	1,335	
	退職給付引当資産支出	998,000	996,665	1,335	
	事業区分間繰入金支出	3,990,000	3,990,000	0	
	事業区分間繰入金支出	3,990,000	3,990,000	0	
	拠点区分間繰入金支出	439,000	438,943	57	
拠点区分間繰入金支出	439,000	438,943	57		
その他の活動による支出	0	0	0		
その他の活動支出計(8)	5,427,000	5,425,608	1,392		
その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	1,083,000	△ 2,947,028	4,030,028		
予備費支出(10)	0		0		
当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)	△ 1,463,000	686,769	△ 2,149,769		
前期末支払資金残高(12)	50,515,748	50,515,748	0		
当期末支払資金残高(11) + (12)	49,052,748	51,202,517	△ 2,149,769		

脚注① 新規利用者が増え、稼働率が上昇したため

脚注② 介護保険事業収入増により、積立金取崩しが不要となったため



## 介護保険施設 原宿地域ケアセンター拠点区分 事業活動計算書

第二号第四様式

自 令和 2 年 4 月 1 日 至 令和 3 年 3 月 31 日

介護保険施設 原宿地域ケアセンター

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増 減
収 益	介護保険事業収益	128,321,738	135,422,960	△ 7,101,222
	居宅介護料収益	89,307,241	102,232,071	△ 12,924,830
	(介護報酬収益)	79,108,120	90,557,527	△ 11,449,407
	介護報酬収益	79,108,120	90,557,527	△ 11,449,407
	(利用者負担金収益)	10,199,121	11,674,544	△ 1,475,423
	介護負担金収益(公費)	956,168	721,640	234,528
	介護負担金収益(一般)	9,242,953	10,952,904	△ 1,709,951
	居宅介護支援介護料収益	18,715,753	16,008,175	2,707,578
	居宅介護支援介護料収益	17,799,633	15,109,279	2,690,354
	介護予防支援介護料収益	916,120	898,896	17,224
	介護予防・日常生活支援総合事業収益	7,680,665	7,158,984	521,681
	事業収益	6,987,083	6,587,883	399,200
	事業負担金収益(公費)	42,425	86,380	△ 43,955
	事業負担金収益(一般)	651,157	484,721	166,436
	利用者等利用料収益	8,886,055	8,408,815	477,240
	食費収益(一般)	7,540,000	7,806,600	△ 266,600
	その他の利用料収益	1,346,055	602,215	743,840
	その他の事業収益	3,732,024	1,614,915	2,117,109
	補助金事業収益(公費)	2,497,426	85,661	2,411,765
	受託事業収益(公費)	192,500	269,550	△ 77,050
	法人内受託収益	1,042,098	1,259,704	△ 217,606
経常経費寄附金収益	3,000	10,000	△ 7,000	
寄附金収益	3,000	10,000	△ 7,000	
その他の収益	41,157	4,316,773	△ 4,275,616	
退職引当資産返還差額収益	41,157	4,316,773	△ 4,275,616	
サービス活動収益計(1)	128,365,895	139,749,733	△ 11,383,838	
サ ー ビ ス 活 動 増 減 の 部	人件費	95,133,065	109,371,656	△ 14,238,591
	職員給料	36,890,711	42,352,486	△ 5,461,775
	職員俸給	29,905,900	33,701,211	△ 3,795,311
	管理職手当	135,432	177,060	△ 41,628
	主任手当	120,000	120,000	0
	特殊業務手当	996,128	1,123,987	△ 127,859
	処遇改善手当	2,136,600	2,397,400	△ 260,800
	扶養手当	720,000	1,320,000	△ 600,000
	住居手当	740,000	980,000	△ 240,000
	宿直手当	1,000	97,000	△ 96,000
	時間外手当	799,467	940,834	△ 141,367
	その他手当	24,000	24,000	0
	通勤手当	1,312,184	1,470,994	△ 158,810
	職員賞与	6,147,227	7,864,285	△ 1,717,058
	賞与引当金繰入	4,147,000	4,721,000	△ 574,000
	非常勤給与	34,597,796	34,375,652	222,144
	有期・無期職員賃金	33,888,276	33,734,932	153,344
	有期・無期職員通勤費	709,520	640,720	68,800
	派遣職員費	0	1,129,360	△ 1,129,360
	退職給付費用	3,151,572	7,395,978	△ 4,244,406
	法定福利費	10,198,759	11,532,895	△ 1,334,136
	事業費	15,258,651	15,667,214	△ 408,563
	給食費	6,011,740	6,302,692	△ 290,952
	給食費	6,011,740	6,302,692	△ 290,952
	介護用品費	12,045	0	12,045
	保健衛生費	439,337	244,462	194,875
	被服費	60,000	0	60,000
	教養娯楽費	166,575	243,484	△ 76,909
	日用品費	53,370	40,088	13,282
	水道光熱費	5,043,437	5,671,611	△ 628,174
	消耗器具備品費	1,098,259	616,073	482,186
	保険料	931,330	1,166,470	△ 235,140
	賃借料	343,698	210,664	133,034
車輛費	1,085,522	1,171,670	△ 86,148	
雑費	13,338	0	13,338	
事務費	13,164,266	13,306,426	△ 142,160	
福利厚生費	443,965	590,797	△ 146,832	
職員被服費	78,933	29,887	49,046	
旅費交通費	3,360	24,600	△ 21,240	
研修研究費	73,088	134,580	△ 61,492	
事務消耗品費	888,534	631,690	256,844	
印刷製本費	179,351	198,919	△ 19,568	
修繕費	2,326,784	1,645,960	680,824	
通信運搬費	742,252	688,322	53,930	
広報費	31,261	138,970	△ 107,709	
業務委託費	3,105,111	3,149,427	△ 44,316	
業務委託費	1,025,111	1,069,427	△ 44,316	

## 介護保険施設 原宿地域ケアセンター

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減
サービス活動増減の部	法人内業務委託費	2,080,000	2,080,000	0
	手数料	416,670	1,101,727	△ 685,057
	土地・建物賃借料	1,320,000	1,353,120	△ 33,120
	租税公課	1,288,800	1,307,400	△ 18,600
	保守料	1,763,311	1,768,677	△ 5,366
	渉外費	49,704	63,017	△ 13,313
	諸会費	38,542	42,542	△ 4,000
	雑費	414,600	436,791	△ 22,191
	利用者負担軽減額	116,789	145,662	△ 28,873
	居宅介護利用者負担軽減額	116,789	145,662	△ 28,873
	減価償却費	2,271,140	2,723,318	△ 452,178
	建物付属設備減価償却費	71,269	78,180	△ 6,911
	機械及び装置減価償却費	89,104	91,514	△ 2,410
	車輛運搬具減価償却費	0	264,732	△ 264,732
	器具及び備品減価償却費	1,500,812	1,515,181	△ 14,369
	ソフトウェア減価償却費	609,955	773,711	△ 163,756
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 20,574	△ 142,054	121,480
国庫補助金等積立金取崩額	△ 20,574	△ 142,054	121,480	
サービス活動費用計(2)	125,923,337	141,072,222	△ 15,148,885	
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	2,442,558	△ 1,322,489	3,765,047	
サービス活動外増減の部	受取利息配当金収益	2,551	162,792	△ 160,241
	その他のサービス活動外収益	3,572,067	1,402,731	2,169,336
	受入研修費収益	2,000	38,000	△ 36,000
	利用者等外給食費収益	1,249,750	1,285,600	△ 35,850
	雑収益	2,320,317	79,131	2,241,186
	施設整備使用料収益	0	80	△ 80
	その他雑収益	2,320,317	79,051	2,241,266
	サービス活動外収益計(4)	3,574,618	1,565,523	2,009,095
	その他のサービス活動外費用	3,549,750	1,285,600	2,264,150
	利用者等外給食費	1,249,750	1,285,600	△ 35,850
雑損失	2,300,000	0	2,300,000	
雑費	2,300,000	0	2,300,000	
サービス活動外費用計(5)	3,549,750	1,285,600	2,264,150	
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	24,868	279,923	△ 255,055	
経常増減差額(7) = (3) + (6)	2,467,426	△ 1,042,566	3,509,992	
特別増減の部	施設整備等補助金収益	246,400	0	246,400
	施設整備等補助金収益	246,400	0	246,400
	固定資産売却益	0	1,100	△ 1,100
	車輛運搬具売却益	0	1,100	△ 1,100
	特別収益計(8)	246,400	1,100	245,300
	固定資産売却損・処分損	1	3	△ 2
	器具及び備品売却損・処分損	1	3	△ 2
	国庫補助金等特別積立金積立額	246,400	0	246,400
	事業区分間繰入金費用	3,990,000	3,990,000	0
	拠点区分間繰入金費用	438,943	0	438,943
特別費用計(9)	4,675,344	3,990,003	685,341	
特別増減差額(10) = (8) - (9)	△ 4,428,944	△ 3,988,903	△ 440,041	
予備費	0	0	0	
税引前当期活動増減差額(11) = (7) + (10)	△ 1,961,518	△ 5,031,469	3,069,951	
法人税、住民税及び事業税(12)	0	0	0	
過年度法人税等(13)	0	0	0	
法人税等調整額(14)	0	0	0	
過年度法人税等調整額(15)	0	0	0	
当期活動増減差額(16) = (11) - (12) - (13) - (14) - (15)	△ 1,961,518	△ 5,031,469	3,069,951	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(17)	50,456,434	53,357,981	△ 2,901,547
	当期末繰越活動増減差額(18) = (16) + (17)	48,494,916	48,326,512	168,404
	基本金取崩額(19)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(20)	1,527,000	2,129,922	△ 602,922
	介護施設積立金取崩額	1,527,000	2,129,922	△ 602,922
	備品等購入積立金取崩額	0	857,000	△ 857,000
	修繕積立金取崩額(CP)	1,527,000	1,272,922	254,078
その他の積立金積立額(21)	0	0	0	
次期繰越活動増減差額(22) = (18) + (19) + (20) - (21)	50,021,916	50,456,434	△ 434,518	

## 介護保険施設 原宿地域ケアセンター拠点区分 貸借対照表

第三号第四様式

令和3年3月31日現在

介護保険施設 原宿地域ケアセンター

(単位:円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	当年度末	前年度末	増 減	科 目	当年度末	前年度末	増 減
<b>流動資産</b>	62,779,347	63,118,797	△ 339,450	<b>流動負債</b>	15,723,830	17,324,049	△ 1,600,219
現金預金	38,877,576	40,080,084	△ 1,202,508	短期運営資金借入金	0	0	0
事業未収金	23,074,328	22,039,420	1,034,908	事業未払金	10,303,712	11,553,548	△ 1,249,836
未収金	118,550	234,738	△ 116,188	その他の未払金	0	0	0
未収補助金	3,295	37,415	△ 34,120	1年以内返済予定リース債務	0	0	0
未収収益	0	0	0	未払費用	0	0	0
貯蔵品	0	0	0	預り金	0	4,901	△ 4,901
医薬品	0	0	0	職員預り金	65,118	0	65,118
診療・療養費等材料	0	0	0	前受金	0	0	0
給食用材料	0	0	0	前受収益	0	0	0
商品・製品	0	0	0	仮受金	0	0	0
立替金	0	0	0	未払法人税等	0	0	0
前払金	0	7,580	△ 7,580	未払消費税等	1,208,000	1,044,600	163,400
前払費用	552,168	521,408	30,760	賞与引当金	4,147,000	4,721,000	△ 574,000
短期貸付金	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
事業区分間貸付金	153,430	198,152	△ 44,722	<b>固定負債</b>	9,482,274	9,544,549	△ 62,275
仮払金	0	0	0	設備資金借入金	0	0	0
その他の流動資産	0	0	0	長期運営資金借入金	0	0	0
△ 仮収不能引当金	0	0	0	リース債務	0	0	0
<b>固定資産</b>	26,139,539	29,198,275	△ 3,058,736	退職給付引当金	9,482,274	9,544,549	△ 62,275
<b>基本財産</b>	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
土地	0	0	0	<b>負債の部合計</b>	25,206,104	26,868,598	△ 1,662,494
建物	0	0	0	<b>純 資 産 の 部</b>			
定期預金	0	0	0	基本金	0	0	0
投資有価証券	0	0	0	国庫補助金等特別積立金	225,826	0	225,826
<b>その他の固定資産</b>	26,139,539	29,198,275	△ 3,058,736	その他の積立金	13,465,040	14,992,040	△ 1,527,000
土地	0	0	0	介護施設積立金	13,465,040	14,992,040	△ 1,527,000
建物	227,706	298,975	△ 71,269	次期繰越活動増減差額	50,021,916	50,456,434	△ 434,518
構築物	0	0	0	(うち当期活動増減差額)	△ 1,961,518	△ 5,031,469	3,069,951
機械及び装置	245,026	334,130	△ 89,104				
車輛運搬具	7	7	0				
器具及び備品	1,628,686	2,745,599	△ 1,116,913				
建設仮勘定	0	0	0				
有形リース資産	0	0	0				
権利	0	0	0				
ソフトウェア	787,710	979,885	△ 192,175				
無形リース資産	0	0	0				
長期貸付金	0	0	0				
退職給付引当資産	9,482,274	9,544,549	△ 62,275				
介護施設繰越積立資産	13,465,040	14,992,040	△ 1,527,000				
差入保証金	216,000	216,000	0				
長期前払費用	0	0	0				
その他の固定資産	87,090	87,090	0				
<b>資産の部合計</b>	88,918,886	92,317,072	△ 3,398,186	<b>純資産の部合計</b>	63,712,782	65,448,474	△ 1,735,692
				<b>負債及び純資産の部合計</b>	88,918,886	92,317,072	△ 3,398,186

公益事業 原宿地域ケアプラザ拠点区分 資金収支計算書

第一号第四様式

自 令和 2 年 4 月 1 日 至 令和 3 年 3 月 31 日

公益事業 原宿地域ケアプラザ

(単位:円)

勘定科目		予 算 (A)	決 算 (B)	差 異 (A) - (B)	備 考
人 収 入	介護保険事業収入	11,925,000	11,976,322	△ 51,322	
	居宅介護支援介護料収入	5,585,000	5,606,088	△ 21,088	
	介護予防支援介護料収入	5,585,000	5,606,088	△ 21,088	
	介護予防・日常生活支援総合事業収入	6,340,000	6,133,024	206,976	
	事業費収入	6,340,000	6,133,024	206,976	
	その他の事業収入	0	237,210	△ 237,210	
	補助金事業収入(公費)	0	237,210	△ 237,210	
	地域包括支援センター収入	49,771,000	49,931,343	△ 160,343	
	地域包括支援センター収入	49,681,000	49,840,389	△ 159,389	
	地域包括支援センター収入	49,681,000	49,840,389	△ 159,389	
	その他の事業収入	90,000	90,954	△ 954	
	受託事業収入(公費)	90,000	90,954	△ 954	
	その他の収入	326,000	344,581	△ 18,581	
	雑収入	326,000	344,581	△ 18,581	
	その他雑収入	326,000	344,581	△ 18,581	
	事業活動収入計(1)	62,022,000	62,252,246	△ 230,246	
	事 業 活 動 に よ る 収 入 支 出	人件費支出	43,110,000	43,003,619	106,381
職員給料支出		23,810,000	23,652,678	157,322	
職員俸給支出		18,003,000	18,002,400	600	
管理職手当支出		365,000	364,320	680	
主任手当支出		180,000	180,000	0	
特殊業務手当支出		478,000	477,216	784	
職務手当支出		720,000	720,000	0	
扶養手当支出		1,800,000	1,800,000	0	
住居手当支出		900,000	900,000	0	
時間外手当支出		323,000	170,202	152,798	
通勤手当支出		1,041,000	1,038,540	2,460	
職員賞与支出		6,002,000	6,000,800	1,200	
非常勤職員給与支出		7,231,000	7,197,670	33,330	
有期・無期職員貸金支出		7,018,000	6,994,390	23,610	
有期・無期職員通勤支出		213,000	203,280	9,720	
退職給付支出		869,000	867,750	1,250	
法定福利費支出		5,198,000	5,284,721	△ 86,721	
事業費支出		4,559,000	3,724,653	834,347	
介護用品費支出		8,000	8,000	0	
保健衛生費支出		239,000	237,405	1,595	
水道光熱費支出		3,775,000	2,999,094	775,906	
保険料支出		60,000	57,570	2,430	
貸借料支出		58,000	51,972	6,028	
車輻費支出		102,000	85,776	16,224	
雑支出		317,000	284,836	32,164	
事務費支出		16,284,000	16,124,708	159,292	
福利厚生費支出		178,000	151,294	26,706	
旅費交通費支出		46,000	32,360	13,640	
研修研究費支出		87,000	62,700	24,300	
事務消耗品費支出		482,000	373,365	108,635	
印刷製本費支出		218,000	180,734	37,266	
修繕費支出		805,000	1,060,890	△ 255,890	
通信運搬費支出		696,000	691,788	4,212	
広報費支出		34,000	31,256	2,744	
業務委託費支出		11,119,000	10,973,405	145,595	
業務委託費支出		9,745,000	9,630,317	114,683	
法人内業務委託費支出		1,374,000	1,343,088	30,912	
手数料支出		293,000	288,463	4,537	
租税公課支出		24,000	22,200	1,800	
保守料支出		1,731,000	1,732,049	△ 1,049	
渉外費支出		7,000	3,462	3,538	
諸会費支出		24,000	23,542	458	
雑支出		540,000	497,200	42,800	
その他の支出	300,000	300,000	0		
雑支出	300,000	300,000	0		
雑支出	300,000	300,000	0		
事業活動支出計(2)	64,253,000	63,152,980	1,100,020		
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)	△ 2,231,000	△ 900,734	△ 1,330,266		
施 設 等 に 関 する 収 入 支 出	施設整備等補助金収入	348,000	110,790	237,210	
	施設整備等補助金収入	348,000	110,790	237,210	
	施設整備等収入計(4)	348,000	110,790	237,210	
	固定資産取得支出	547,000	545,510	1,490	
	車輛運搬具取得支出	111,000	110,790	210	
	器具及び備品取得支出	436,000	434,720	1,280	
	事務用器具備品取得支出	298,000	297,220	780	
	その他の器具備品取得支出	138,000	137,500	500	
	施設整備等支出計(5)	547,000	545,510	1,490	

公益事業 原宿地域ケアプラザ

(単位:円)

勘定科目		予 算 (A)	決 算 (B)	差 異 (A) - (B)	備 考
そ の 他 の 活 動 に よ る 収 入 支 出	施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)	△ 199,000	△ 434,720	235,720	
	事業区分間繰入金収入	3,990,000	3,990,000	0	
	事業区分間繰入金収入	3,990,000	3,990,000	0	
	その他の活動による収入	0	0	0	
	その他の活動収入計(7)	3,990,000	3,990,000	0	
	積立資産支出	589,000	587,505	1,495	
	退職給付引当資産支出	589,000	587,505	1,495	
	事業区分間繰入金支出	215,000	214,931	69	
	事業区分間繰入金支出	215,000	214,931	69	
	その他の活動による支出	0	0	0	
その他の活動支出計(8)	804,000	802,436	1,564		
その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	3,186,000	3,187,564	△ 1,564		
予備費支出(10)	0	0	0		
当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)	756,000	1,852,110	△ 1,096,110		
前期末支払資金残高(12)	2,123,740	2,123,740	0		
当期末支払資金残高(11) + (12)	2,879,740	3,975,850	△ 1,096,110		

公益事業 原宿地域ケアプラザ拠点区分 事業活動計算書

自 令和 2 年 4 月 1 日 至 令和 3 年 3 月 31 日

公益事業 原宿地域ケアプラザ

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増 減
収 益	介護保険事業収益	11,976,322	12,477,616	△ 501,294
	居宅介護支援介護料収益	5,606,088	5,886,802	△ 280,714
	介護予防支援介護料収益	5,606,088	5,886,802	△ 280,714
	介護予防・日常生活支援総合事業収益	6,133,024	6,590,814	△ 457,790
	事業収益	6,133,024	6,590,814	△ 457,790
	その他の事業収益	237,210	0	237,210
	補助金事業収益(公費)	237,210	0	237,210
	地域包括支援センター収益	49,931,343	51,188,929	△ 1,257,586
	地域包括支援センター収益	49,840,389	51,098,802	△ 1,258,413
	地域包括支援センター収益	49,840,389	51,098,802	△ 1,258,413
	その他の事業収益	90,954	90,127	827
	受託事業収益(公費)	90,954	90,127	827
	サービス活動収益計(1)	61,907,665	63,666,545	△ 1,758,880
	サ ー ビ ス 活 動 増 減 の 部 用 費	人件費	43,106,124	45,385,053
職員給料		23,652,678	25,323,784	△ 1,671,106
職員俸給		18,002,400	19,283,505	△ 1,281,105
管理職手当		364,320	325,212	39,108
主任手当		180,000	120,000	60,000
特殊業務手当		477,216	554,531	△ 77,315
職務手当		720,000	839,825	△ 119,825
扶養手当		1,800,000	1,845,000	△ 45,000
住居手当		900,000	960,000	△ 60,000
宿直手当		0	6,000	△ 6,000
時間外手当		170,202	348,473	△ 178,271
通勤手当		1,038,540	1,041,238	△ 2,698
職員賞与		3,578,800	4,192,359	△ 613,559
賞与引当金繰入		2,298,000	2,783,000	△ 485,000
非常勤給与		7,197,670	6,171,002	1,026,668
有期・無期職員賃金		6,994,390	5,969,732	1,024,658
有期・無期職員通勤費		203,280	201,270	2,010
退職給付費用		1,455,255	1,626,915	△ 171,660
法定福利費		4,923,721	5,287,993	△ 364,272
事業費		3,724,653	5,189,653	△ 1,465,000
介護用品費		8,000	0	8,000
保健衛生費		237,405	0	237,405
水道光熱費		2,999,094	4,590,085	△ 1,590,991
保険料		57,570	55,380	2,190
賃借料		51,972	55,262	△ 3,290
車輛費		85,776	21,610	64,166
雑費		284,836	467,316	△ 182,480
事務費		16,124,708	16,170,000	△ 45,292
福利厚生費		151,294	140,737	10,557
旅費交通費		32,360	51,430	△ 19,070
研修研究費		62,700	28,110	34,590
事務消耗品費		373,365	445,033	△ 71,668
印刷製本費		180,734	199,548	△ 18,814
修繕費		1,060,890	391,416	669,474
通信運搬費		691,788	657,071	34,717
広報費		31,256	28,470	2,786
業務委託費		10,973,405	11,540,683	△ 567,278
業務委託費		9,630,317	9,962,574	△ 332,257
法人内業務委託費		1,343,088	1,578,109	△ 235,021
手数料		288,463	333,854	△ 45,391
租税公課		22,200	12,900	9,300
保守料		1,732,049	1,713,290	18,759
渉外費		3,462	8,630	△ 5,168
諸会費		23,542	24,542	△ 1,000
雑費		497,200	594,286	△ 97,086
減価償却費		36,966	0	36,966
車輛運搬具減価償却費		18,465	0	18,465
器具及び備品減価償却費	18,501	0	18,501	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 18,465	0	△ 18,465	
国庫補助金等積立金取崩額	△ 18,465	0	△ 18,465	
サービス活動費用計(2)	62,973,986	66,744,706	△ 3,770,720	
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)		△ 1,066,321	△ 3,078,161	2,011,840
サ ー ビ ス 活 動 外 増 減 の 部	収益			
	受取利息配当金収益	0	0	0
	その他のサービス活動外収益	344,581	210,690	133,891
	雑収益	344,581	210,690	133,891
	その他雑収益	344,581	210,690	133,891
サービス活動外収益計(4)	344,581	210,690	133,891	
費用				
その他のサービス活動外費用	300,000	0	300,000	
雑損失	300,000	0	300,000	
雑費	300,000	0	300,000	

## 公益事業 原宿地域ケアプラザ

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減	
	サービス活動外費用計(5)	300,000	0	300,000	
	サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	44,581	210,690	△ 166,109	
	経常増減差額(7) = (3) + (6)	△ 1,021,740	△ 2,867,471	1,845,731	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	110,790	0	110,790
		施設整備等補助金収益	110,790	0	110,790
		事業区分間繰入金収益	3,990,000	3,990,000	0
		特別収益計(8)	4,100,790	3,990,000	110,790
	費用	固定資産売却損・処分損	2	0	2
		器具及び備品売却損・処分損	2	0	2
		国庫補助金等特別積立金積立額	110,790	0	110,790
		事業区分間繰入金費用	214,931	0	214,931
		特別費用計(9)	325,723	0	325,723
		特別増減差額(10) = (8) - (9)	3,775,067	3,990,000	△ 214,933
	予備費	0	0	0	
	税引前当期活動増減差額(11) = (7) + (10)	2,753,327	1,122,529	1,630,798	
	法人税、住民税及び事業税(12)	0	0	0	
	過年度法人税等(13)	0	0	0	
	法人税等調整額(14)	0	0	0	
	過年度法人税等調整額(15)	0	0	0	
	当期活動増減差額(16) = (11) - (12) - (13) - (14) - (15)	2,753,327	1,122,529	1,630,798	
繰越額の動部増減	前期繰越活動増減差額(17)	△ 650,827	△ 1,773,356	1,122,529	
	当期末繰越活動増減差額(18) = (16) + (17)	2,102,500	△ 650,827	2,753,327	
	基本金取崩額(19)	0	0	0	
	その他の積立金取崩額(20)	0	0	0	
	その他の積立金積立額(21)	0	0	0	
	次期繰越活動増減差額(22) = (18) + (19) + (20) - (21)	2,102,500	△ 650,827	2,753,327	

## 公益事業 原宿地域ケアプラザ拠点区分 貸借対照表

第三号第四様式

令和3年3月31日現在

公益事業 原宿地域ケアプラザ

(単位:円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	当年度末	前年度末	増 減	科 目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	18,088,497	13,711,073	4,377,424	流動負債	16,410,647	14,370,333	2,040,314
現金預金	16,176,835	11,660,614	4,516,221	短期運営資金借入金	0	0	0
事業未収金	1,892,974	2,040,967	△ 147,993	事業未払金	13,932,640	11,348,302	2,584,338
未収金	9,756	560	9,196	その他の未払金	0	0	0
未収補助金	0	0	0	1年以内返済予定リース債務	0	0	0
未収収益	0	0	0	未払費用	0	0	0
貯蔵品	0	0	0	預り金	0	0	0
医薬品	0	0	0	職員預り金	0	0	0
診療・療養費等材料	0	0	0	前受金	0	0	0
給食用材料	0	0	0	前受収益	0	0	0
商品・製品	0	0	0	事業区分間借入金	163,143	171,575	△ 8,432
立替金	0	0	0	拠点区分間借入金	16,864	67,456	△ 50,592
前払金	0	0	0	仮受金	0	0	0
前払費用	8,932	8,932	0	未払法人税等	0	0	0
短期貸付金	0	0	0	未払消費税等	0	0	0
仮払金	0	0	0	賞与引当金	2,298,000	2,783,000	△ 485,000
その他の流動資産	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
△徴収不能引当金	0	0	0	固定負債	7,673,991	7,086,486	587,505
固定資産	8,190,966	7,094,919	1,096,047	設備資金借入金	0	0	0
基本財産	0	0	0	長期運営資金借入金	0	0	0
土地	0	0	0	リース債務	0	0	0
建物	0	0	0	退職給付引当金	7,673,991	7,086,486	587,505
定期預金	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
投資有価証券	0	0	0	負債の部合計	24,084,638	21,456,819	2,627,819
その他の固定資産	8,190,966	7,094,919	1,096,047	純 資 産 の 部			
土地	0	0	0	基本金	0	0	0
建物	0	0	0	国庫補助金等特別積立金	92,325	0	92,325
構築物	0	0	0	次期繰越活動増減差額	2,102,500	△ 650,827	2,753,327
機械及び装置	0	0	0	(うち当期活動増減差額)	2,753,327	1,122,529	1,630,798
車輛運搬具	92,326	1	92,325				
器具及び備品	416,219	2	416,217				
建設仮勘定	0	0	0				
有形リース資産	0	0	0				
権利	0	0	0				
ソフトウェア	0	0	0				
無形リース資産	0	0	0				
長期貸付金	0	0	0				
退職給付引当資産	7,673,991	7,086,486	587,505	純資産の部合計	2,194,825	△ 650,827	2,845,652
長期前払費用	0	0	0	負債及び純資産の部合計	26,279,463	20,805,992	5,473,471
その他の固定資産	8,430	8,430	0				
資産の部合計	26,279,463	20,805,992	5,473,471				

## 福祉に関する 相談窓口

直接ケアプラザにおこしいただくか、  
電話でのご相談もお受けします。

**Tel.045-854-2293**

閉館時は特別養護老人ホーム太陽の間に  
転送されることになっています。



- 月曜日から土曜日 9:00~21:00
- 日曜日・祭日 9:00~17:00



- 第3月曜日(館内点検日)
- 年末年始(12/29~1/3)

- 通所介護事業所番号 147100123
- 介護予防・日常生活支援総合事業(横浜市通所介護総合サービス)
- 福祉介護支援事業所番号 147100123
- 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業所番号 140100997

### 個人情報保護に関する考え(取り組み)

- 私たちは、相談の御知り得た利用者及びその家族に関する個人情報について、第三者に漏らすことはありません。
- 私たちは、あらかじめ利用者の同意を得た上で、利用者サービスを提供する事業等との連携調整など必要な範囲において、利用者の個人情報を利用することとします。



※入口は道路側1階です(市営住宅1階)

### ●JR各駅よりバスをご利用の場合

駅名	乗換の目的地	徒歩2分	徒歩8分	徒歩7分	徒歩1分	徒歩2分
戸塚駅 西口	○横浜公園-横浜東大前	徒歩2分				
	○ドリームハイム行		徒歩8分			
	○横浜医療センター行			徒歩7分		
大船駅 西口	○横浜公園-横浜東大前					
	○ドリームハイム行					
	○立場ターミナル行					
藤沢駅 北口	○戸塚バスセンター				徒歩1分	
	○横浜公園-横浜東大前					
	○ドリームハイム行					
大船駅 西口	○公文国際学園行					
	○藤沢駅北口行 (原宿・公文経由)					徒歩2分

## 横浜市原宿地域ケアプラザ

〒245-0063 横浜市戸塚区原宿4丁目36番1号(1階)  
Tel.045-854-2291(代) Fax.045-854-2299  
http://www.harajyuku-cp.jp

◎MEMO

## 横浜市 原宿地域ケアプラザ

社会福祉法人聖母会

## 横浜市原宿地域ケアプラザ

ひとびとのあいだに ひとびとのなかに よろこびを...

住みなれた街で 安心して暮らせるよう  
在宅生活を支援します

### 通所介護事業

- 通所介護
  - 介護予防・日常生活支援総合事業
- 介護保険で、要支援・要介護と認定された方などに送迎、食事、入浴、機能訓練などのサービスを提供します。

### 生活支援体制整備事業

住み慣れた地域で暮らし続けられるように高齢者の生活支援・介護予防の体制整備を地域の皆様とともに進めます。

### 地域包括支援センター

高齢者の方々が住み慣れた地域で生活を続けていくために、必要に応じて介護保険やその他のサービスを上手に利用していくことができるように、社会福祉士・保健師・主任ケアマネジャーなど専門スタッフが、総合的な相談や権利擁護など、様々な支援を行います。

### 地域活動交流事業

子どもも高齢者も障害のある人もともにこの地域でよりよく生きることができるよう、まちづくりの支援を地域の皆様とともに進めます。

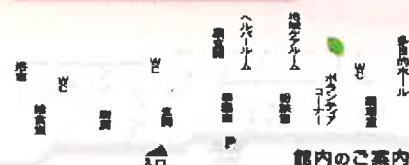
福祉保健活動団体の会場の貸し出し、車イス等の貸し出し等。

また、「要支援」になるおそれのある方から「要介護1~2」の方まで介護予防のケアプランの作成やアドバイスを進めます。

〒245-0063 横浜市戸塚区原宿4丁目36番1号(1階)  
Tel.045-854-2291(代) Fax.045-854-2299  
http://www.harajyuku-cp.jp

### 居宅介護支援事業

家族や地域の関係者・関係機関と連絡調整をとりながら、要介護・要支援認定を受けた方々が、地域でその人らしく、自立した生活を送れるようケアプラン(居宅サービス計画書)を作成します。



★福祉・保健等に関する相談や当プラザの見学等、お気軽にお問い合わせ下さい。